「想されるので、歌扇の成」の間に線誘診館が進められてゐた。 「然から何人かゞ稼慨さな」、概、散略教育總監、植田豪謀次援。 「東京那無駄については過輸来梯隆勢あり、現内閣が衰壊す」 【東京二十四日餐園油】三月の隆

満鐵の特殊使命

ど監督官の

したやうに、浦郷は政は交通機関 本産製さいふやうなものを総督する特殊の使命があるので、異質

大藏男の滿洲問題質問®

陸軍の定期異動

理想さらては結構だが、陸地理想さらては指標だすら問題わり勝ち 太平洋中に中立水帯を設ける とは實施を得めさ思ふ とは實施を得めき思ふ

言議に呼

鄉軍有

來月十日ころ發令

問題發生阻止に努力

界 未 鈴 人行受 治代喜本语 人輔語 盛武 村 本 人制印 地番一冊前題公東市連大 駐報日湖南 計會太豫所行复

任大將

电二十四日發

「有吉公師は記者側さ

第一師國司令語版 任中將 (各通)

で意見を交換した、南京行つたものでないが、注行つたものでないが、注信期間の一般問題の一般問題がある。

一氏(羆生會輕率)同上

陸軍士官學校

期鮮率司令官 級 日支懸案知

技術上の

交涉必要

解決に

る。今少し長く居下かつたが御

滿機衛生研究所の第六十

衛研學術集談會

張文鑄司令官赴京

南京訪問

後有吉公使語る

任少將

る。なほ宮脇氏は三土 てゐる 一般注目され

第八師剛長

水利組合を設立 水利局撤廢後の對策

同日午前九時費はざにて芸術氏(三井物産大連支

びかけたっ

おれて来ました、そして貴女のはないやうです。昨日、0ピル

景館選歌●日の丸の族

日本の旗 まつり

はようく

しく思ひます。なぜ、お得きになるのしのが)なざさ、お得きになるのうな

私の親友は、私が貴女に持つ

「あの人さなら、結婚しても

つてした名脈! 大才廣太郎をも ・電り高

氏(關東總外事課長)

さ子前は、心の切って、親く呼

在はないささへ考へてぬます

貴院、綱紀問題を

文相にどり致命的

魔首棚の登院にも縁

世界の情勢動く

へ赴く豫定 ◆村田治郎氏(工學博士、工事教 本が国治郎氏(工學博士、工事教 なぜ、貴女のやうな方)が、私 長)同上 であたのですか。

尽のやうなものが)なごで臓迹なさ

て、口に出し得なかった事なので

三頭サイゴ

機・観らかな兵隊

東 (貴女のやうな人)ほど、世の中 第 (貴女のやうな人)ほど、世の中

の音問題

二日後國道 英モーニングポスト紙社説

中立水帶設置は

蛇角

星野總務司長

港うらる丸で來任二十五日はさに官筒井郷氏は夫人同伴二十四日人

神放や説くのは通常の必要から というのは通常の必要から 税職事務並びに關稅問題等で打合 53

陽和一變、それもより、この数。 備州風水に回動が追ッ手に帆た 0

くせ者、用心が肝要。 たどし、太平洋の波濤はさか

るに至るであらう

の共同防衛上の必要もあるのであ 上のみならず、関防上の日清隔域 の共同防衛上の必要もあるのであ しまする上に於ても、赤鉱道敷設・流域が今日共興防産業を終落いた も職終を取らなければならない

内部に従来色々の懐察もあり、又 内部に従来色々の懐察もあり、文

こしなければならので しなければならのので しなければならのので していると思いるも

たのなっては、大物道域に割する 大のなっては、大物道域に割する 大のなっては、大物道域に割する

しても中央政府からこ

魔であったと思

常駐監督官を置くこさが必要に接触に、滿城の内部に頻繁に接触

洋楽レコー

交響曲第八

大石妻子の別れ



結婚申込 012

漫太郎赤城の子中県 松竹下加丁ール

鹿兒島小原

より同所圖書室において開催。左集院会は二十七日(火)午後一時 入回學術

る月新譜



私の邸に飾って















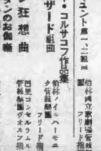








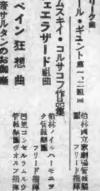












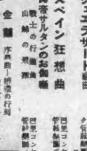


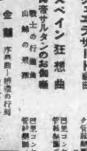




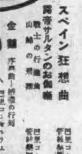






















一庭日滿谷敷枝に敷き

反愛會員に

を總紙め

にないふ能威を耐て影響以上のスリンといふ能威を耐て影響以上のスリ

タモンの餘罪

舌を卷かすその手口

あり間で、 東京和行でこれまであるが、 東京都行でこれまであるが、 東京和行でこれまであるが、 東京和行でこれまである。

野館、 機長集合所等で三 で、幾久屋信官、 法珠峡 で、幾久屋信官、 法珠峡

北西の風晴時々

不天気予報

感謝の意を表す

人情將軍·西部隊長

御の大連在軍軍 同十時二十分大タク常懸権被製所 を高速機を述べたが更に再称軍は した西部院長は一本社を膨散感謝の金を表と呼せて

になつたが、今時は前域を残つて の如く盛大に奉親行事な行ふこさ 市役所と大連市職会、小融子融合 西部融合の日浦合同志催により左 四、就行列は各中小學校、公會 意場示定 より適宜行進路を輝て祝賀式 三、祝賀式は一日午前十一時さ が、公會

大典慶祝運動會

六月三日に開催決議

(可認物便郵箱三號)

て日本の立場を不利に陥って日本の立場を不利に陥るものは支配が、関際オリムビッ

日満合同で慶祝

一日から二日間兩國旗掲揚

映樂館の管理

てゐる、だが米國に送るには船便 四三独の僧入被郡成つたと噂され 四三独の僧入被郡成つたと噂され

州東球郎門選手権大会は二十本社後接端州東球協会主催の

特徴しあり、是非御覧下さい。
特徴は、今流にない書晴しいも大階級は、今流にない書晴しいも

網物・子供服の大附録

強心 敷の注料。

本三十五5

【東京二十四日發國通] 小說 病勢恶化重態

偽證罪で拘引

吉田兩氏は昨夜釋放さる

ると十日のグランド歌きで作

外なくその船便も一

州外代表撫順二團體、州内代

旗行列で祝賀式へ

交那の策謀は

職組合の處置は熟現機 (続いメスを加へるに決定した、な 一般に内値の結果制でられてなり、出債停止處分を行った れた機會に非公益能な組合に對し 又は戦争記入上陸間視される脈が到して下月の組合戰量 気が持ち上つたもので簡同ではこ 金及び宴食製等の行方不明の風談談を要素した事天の中 された機に内値中、今時の不當行 ほ薬音器機組合の内部に對し入食設を要素した事天の中

"春だ、大地を耕せ

常制資品は世界全體に大きな波紋に東京特體二十四日登]淅州風の

に犯人両村は映画館のコメモンさ 脚での制事も舌を破いてゐる、な 脚での制事も舌を破いてゐる、な

鏡泊學園生湖畔

濕地用特別トラクターも出来た

ス及びパラマウントのトーキーニ 同様で日本に支社を持つフォック

ース部は日本各新聞社及び松竹

大学五郎氏は柳一ヶ月ぶり を中でかった 一般で発が上京 農 を中でかった 一般で発が上京 農 が大学五郎氏は柳一ヶ月ぶり

先養陳が高波部院

何等恐るゝ要なし

岡部平太氏語る

大會參加問題に關して

満洲國體協が宣言文

作な膨決と四時半散會した。

を満場一致可決、 熊撃なるスポー とになったが、 更に次の如き管電 に対意修幹能を願ふ冒通告するこ

蓄音器商組合も

慶脱品として特命受権大使変が隆一を贈呈する事とはり廿四日入職の日本政府は来るべき満洲國大戦の一大將の手を終て金銭七號の大花 七寶大花瓶一對 日本政府から執政へ

が開始される模様である

向にも長、吉田爾氏縣族の當夜洞 頭を能ざられ間本檢察官事務財扱 頭を能ざられ間本檢察官事務財扱 吉田剛氏極放の監後河

断然弾壓する

大連署で方針を決定

滿鐵旅行案內

れたが神野外事際長に触々船送機がきたに花板は健康に際揚げる

は瀛洲さへ承知ならオランダで、 たい希望な述べて來たが日本で これより先にオランダで開催し

23B∋∪ 27Bマ₹

甘五· 八日

全商品二割引

物、綿布類ハニ割引

物、綿布頭ハニ割ら

特撰品

全商品

割引

回

o現金割引大投高

0棚卸决算=残品處分

磐城町

○剛長その他北浦特別属行政長官 在哈要人赴京

分類列車にて新京に送った『寫真 會は暴に激刑に對して出來るな、東京二十四日養國班』日本庭珠 日本開催絕望

共濟會を計畫

田中屋の

大連市吏員が

は大奥索脱参列のため特別列車に で二十四日午前九時半養新草に向い で二十四日午前九時半養新草に向い で二十四日午前九時半養新草に向い で二十四日午前九時半養新草に向い で二十四日午前九時半養新草に向い で二十四日午前九時半養新草に向い

大典映畵ニュースを

横濱へ飛機輸送 二日出帆船で米國 出願期日 三月二

試驗期日及場所 縣 滿鐵設立營口商業實習所

五日より三月三日まで

吳服全般"三二掃,為 Ξ 赤札附

・空前の大見切、 、大處分

澤

春の弟杯で表示します。 「ない。」 お買物は此の際!! お買物は此の際!! と非共御本店の上御用命を! と非共御本店の上御用命を!

京都山 传通西海院東人京都山上传通西海院東人京都山上传通西海院東人

0 ○春の御用意はいの好機 半額品····

934年春衣裳新製品

かったの 00.111... OII.A 現金廉費・ 趣味の人形 3 4 年型雜雜 レコード職 ワンワン酸 おずべり 返品返金自由 人揃御道其體沒付 金州無貨配達

Œ

・ 本性な事態がに満出しながら疾性 ・ 本性な事態がに満出しながら疾性 ・ できるはないが、極端な膨ル山 ・ でもないのが取極である。そして ・ でもないが、極端な膨ル山

玄關番ミお嬢さん

松竹蒲田ト

キー中央映書館

たのは、黒地に白で隣腰の紋

その右側は、牡蠣のやうにさ

その右側は、牡蠣のやうに落ちれてあるのが、只さへ、言ひやれてもないが、只さへ、言ひやれてく線味がわるいさころへ、言ひやれてくりのでは、牡蠣のやうに落ちばかられて、焼ったいのでは、白いのでは、白いのでは、

魔線のない、赤つほい大たぶん

柳入れになぞ、人が ての面が看板だON

人が準んでゐたの 挽くやうな、不思いな響き。 たの難は、とや暖れて、縦で階を がでいる。

ウ侍え、えらいさころな飛撃して 滑まなかつたが、おらア歴界さ、大総 ではなくなる性分でトゥ 市、名は左膝……ウフ、フ で、尺取り配丁のお願の家にチョンの選場にあるに根塗ないで聴ん、 郷さ魅ったほん物のこけ続は、 の選場にあるに根塗ないで聴ん

だ」
「此待が来たので出場を失ったの 今階いてゐれば

言ふ度に腰の大刀が摘れて 忘

線の不吉な煙り

を から、一歩流み出た表が です、これはお戦機、さう歌かれ うへむき蔵って、 うへむき蔵って、 うへむき蔵って、 うへむき蔵って、 (27)

マアニスト・メデアフ夫人さ地震 ・大人門下共同のピアノ登表者は二 ・大人門下共同のピアノ登表者は二 ・大人門下共同のピアノ登表者は二 ・大人門下共同のピアノ登表者は二 大連観世協督では來る二十 ピアノ演奏會 、花月、嵐山▲獨吟会を定の番組で開催する人、巴、俊寛、大原御幸、輝人、巴、俊寛、大原御幸、輝 いおりの歌店の配





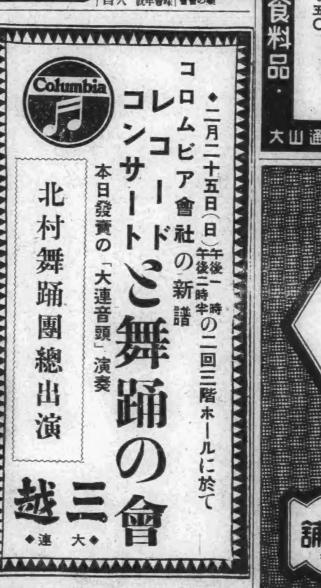


各種

寫映型A

益







Joy of the Tasto

をなし速費を抱くものが事態を知ってを記するもの、満洲奥地の経界で起

大同一

一年下半期

滿洲國經濟界大勢

株主總會席上榮厚總裁演說

大同布課稅

増徴運動に反對

當業者代表陳情に來滿

来 つた地場會社に投資せんとするも 温時代を經過して影響されている。東により、殊により、殊によれらの事態を認っています。 なが後来院の管理なきために信信。意味して居るので、これらの事態を記れられたものもあり、様の粉が形式明白されば優家會社中には関かるものある様のものは庇護術出し様さしれ、に申込為は少くないさ見られて居。本呼ぶものあるべしさ難徐されていまりの情報を記したいてならの事態。 大阪会会社が過去に於いて気じき不

10の手を通じ満洲國へ歌も大同布一大臣に右の事情除述後臘東軍引会

新工典工作に入った連維機店改組 東の職務にありこれにより債権者順へ でが、二十日現在における各社員の希 が、二十日現在における各社員の希 が、二十日現在における各社員の希

に比例もて割戻し、不足 に比例もて割戻し、不足

の解説

連鎖商店改和

米の滿洲國承認說で一 満洲株概ね昻騰

大豆輸入を禁止

滿洲大豆には相當影響

問題の電報料引下げ

し得ない右につき聴い楽

滿洲產穀類課稅

豆 柏 一〇九〇 一一〇〇 田來高 三萬九千枚 豆 油 八五〇 八五〇 出來高 六千箱 出來高 六千箱 出來高 六年

学 銀 高野河電資(二個) 1志三片八分一 高野河電資(14) 1志三片八分一 高野河電資(14) 1二四(10) 同上海雷賀(14) 2回 3 同上海雷賀(14) 2回 3 日本河電賀(同) 1三個00 日本河電賀(同) 1三個00

等 付 大 引

三月一日から實施

市民の負擔さなる、しかれば新たに五萬間さいふ

可能性があるが目下のさころ何れ

作力 (結構) 一大人 () 一大人 () 一部 () 一个力 () 一种 (

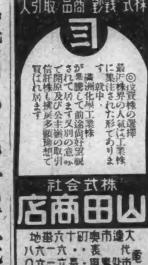
邦商の買進に 一豆 約 早 際 一豆 約 早 際

鐵株(保合)

翼上所を設置する鎌定でありと、安東、龍井村、住木斯等して居ります。なほ近くハル



小兒科醫院

















野 (現物 105°40 105°へA

廿一日等五日間

本学な女の涙物語 下科金●五十銭

手形交換高(廿四日)

はたかりと流かせと消費を 青空に泣く 東間ス場の大人に限り 一十銭

1世四日 計劃切

廿二日二十

市川右太衞門

片手無念流 +六卷

叉相見殺にしても

閣延命を畫策

政界の微妙なる雲行

陸軍機の

中であるがプログラムは三月十五日 は い新京養大連総曲下鵬に上陸、東 京に新養、公式に日本皇雲に御禮 京に新養、公式に日本皇雲に御禮 京に新意を表し四月中領無統総由帰國 であるものと数られてゐる

大連市參事會

川市起、岡野歌役出席のうへ二十四日午後一時際館左の議察を庭案。通り可決し大は同論を更へた通り可決し大は同論を更へた。

追加鎌算で特別の御配慮を乞ふれては農村は非常に困るから木事業費は散々なものである。

代位は不成績

一、課算流用の件(市等住宅家賃得納)
一、實業學校學則中改正の件(昭和九年度より修業期間な三年される工業科(電氣科)を素財間な三年される工業科(電氣科)を素財間な三年される工業科(電氣科)なお供給、

版相 今度の追加機算は事實に即 をてこれは乗ておけぬさいふ事 業の費用のみが計上されてる 外杯品 今の答解は必要なものな ら四年。五年でも費用を出すさ いふ意味にさつてよいか

民間ご契約破棄結果

を守ってゐるが磯府の意味と明後を用意しつ、ある米 に對して急角度の方に對して急角度の方原所養電によれば極東問東所養電によれば極東問

これも六月までには大陸一巡するので整藤大使がその頃日本政府であるとこれなるもので発展大使がその頃日本政府であって野田、開題について米國の担合ところは門戸開発を開始するのには餘りこだはらり日本の態度如何ところは門戸開めから日本の態度如何としては、カカら日本の態度如何という。

五月頃歸朝

小磯參謀長

中の北郷幹部職員にいよく一麻三

特温度公理施修本代表さ「壁で大田大使は二十三日リトヴィ て年後五時より約一時間に 【モスクワ廿四日最関連】漁區間 甲腺維維ポスラウツキー氏 大田大使交渉・ て 大田大使を渉・ て

日米關係調整

界でも花を吹かせて

て取扱はれてゐる

日本の出やうで

呼認まで

米國不戰條約を揚棄

急轉解決する氣運に

を影響せんさし居るもので懸腰大 問題騰波の上剛三日中北鐵交港が起き海軍企業の火國の遺意を打診 使さ会見の際北線問題に言及しか殿は神里企業の火國の遺意を打診 使さ会見の際北線問題に言及しか殿田外槵の崑意は右に依り極東間 外根は二十三日漁屋問題で大田大殿

銀管理局長及び一部度長の任命を

り臓時度長を伝命するとで北、北級理事會による正し、北級理事會による正

を施代表で耐き振手を全し同七時間 で解決したので蘇聯總領事スラウッキー氏は前面に夢色をた、へて

の署名により

かくて本性は数縮を

握手を

漁區入札問題

ろあった

と相俟ち滿洲國承認問題は日本の聯盟脱退一周年に際し最大の話題の一とし盟主義者は悲痛な顔でニユースを迎へてゐる、ドイツ商務官の瀟洲國派遣の報

兩三日後を起點に

心鐵讓渡交涉

モスクワ政

府空氣好轉

十三日發國通』米政府の滿洲國承認の可能性に關する論議はロンド

外務省が駐米大使館へ真相調査方を訓電したとの噂まで起り

八外交界を聳動す

鼻じろむ聯盟至上主義者

を承認すべきか

第30年] 清洲國際係は八組の

曲 獨 排

消極的の

場合のみを規定し

一期議會に提出か

正式規定したので能に栽議院に添一二十寅圓である。 道加豫歌は二十四日接遍り職議で「総會計二千九十九萬圓、朝鮮八百道加豫歌は二十四日接遍道」農村耕築「出の手概を執つたがれの總統はア

松本商相 御道の通りである。 「大小質市場の増加が中小歌楽の不 に小質市場の増加が中小歌楽の不 に小質市場の増加が中小歌楽の不 に小質市場の増加が中小歌楽の不 ラへてゐる。それには間外の重りである。 一種の数では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、

『東京二十四日養國通』二十四日 の貴族院建算總督に午後二時十八 分開會、先づ柳澤委員長より委員 にはかり明日陳曾せざるに決定大 会の総質権を登犯するものさして 関連用の限別な常極的の場合の がの連用の限別な常極的の場合の 反產主張

大の統制については、大の統制については

はこの中に入れる 関税率の均衡(積 対する保護順税の均衡(積 がする保護順税の均衡(積

| での理由から関税については経極

電がではあるが實際の仕事は事務次官が一番よく分つてゐる、 一番次官が一番よく分つてゐる、 のではかるが實際の仕事は事務次官が一番よりなのである。 のではからないであるが實際の仕事は事務次官

出入の統制を断行すべき必要がも積極的に經濟統制に乗出し絵とを持に對抗して、我國さらてを経濟に對抗して、我國さらての経済に對抗して、我國さらての経済に對抗して、我國さらて

業

御高援の賜と深く感謝致します好況を示しました、これ偏に各帝國生命の昭和八年度業績は次

これ偏に各は

位の

、貧債整理組合もしてゐる、中央金

ノフ氏で動見してロシア側の反省 かれが入札を有数さするのに載したがり トガイノフ氏は離底入札が要表面 あわが入札を有数さするのに載色 あったがなは考慮するさ級束し突 があり、局でいたが、大使館 では漁馬入札の除賦手板き未了さ では漁馬入札の除賦手板き未了さ

準備金繰入 電 電

百

七

萬

前年度に比し

前年度に出し

ti

百六

九

萬餘圓

百七萬餘國增加

物年度に出し

契約

億七千四百六十餘萬圓

四千二百二十餘萬圓增加

億四百八十餘萬圓

九百二十餘萬國增加

我外務省注視

要望して経歴と著の教養を

| 「東京二十四日養國道」(清潮波 | 本語 | 一日チモセンコ氏を訪問し我が入 | 北の無効宣言を取消すやう要求し | で居る」で説明したとに對し我が入 | 中込を如何なる案でするか研究し 小林嘉平治君 小林嘉平治君

りその後に

鄭總理の訪日決定

三月十五日ごろ出發

はつさく人様本的な計畫について審議された事を思ふ、應念及 根本對策さして如何なるものありや 、海脚係に副ふやうな答へが出 うだが公債百億になるのありだが公債百億になる。 ない、その跡が結末はどうするか

のへ仕奉と進躍の

九百三 七 萬 餘

配當

(同三年度) 五十十 五

配當資源もまた豊富であります御期待の如く斯界最高率を實行し新種養老保險に對する利益配當は 百 六 + = 萬 餘

一割配當(契約に對し)百國に付 一割五分配當

備配當

示し、資産は評價益一千餘萬圓をかくて八年度末現況は次の數字を

社内に留保し安固を期しました 一千五百七十餘萬圓 一億五千百二十餘萬圓 一億二千五百四十餘萬圓

最も順調に伸展しつwあります利理に於て高率(分玉屋七毛)となりなほ事業費は前年度よりも蕎減し

作工下地心暫局政

オポ

ル新帝

間距艦数の要前にはファ ・株に淡水有力筋には今 ・株に淡水有力筋には今

首相登院



國土壓する萬歲の聲

宣誓式舉行

アッショ警戒

下四日費国通)砂穴食の ・全や表蔵下火の経であ ・大の窓がは依然わり ・大の窓がは依然わり ・大の窓がは依然わり 消えぬ政黨聯携運動 政友幹部の動向

から球形連続を離れた

二十七日午後二時大連市館を採集の他を附職する苦

滿鐵重役會議

實增案

書祭の選手を

超名を

い人たのし

本社規

(D-2-a)

は取止めてなった。

農規定中改正の件へ市

進 精

七億七千五百六十萬圓

大連市會招集

本紙夕刊共十六頁

京の大奥に動機を見ずして同 のも出稿はす何等を決な見ずして同 の大奥に動機とたが正副機械共新 のの大奥に動機とたが正副機械共新 の大奥に動機とたが正副機械共新

農林省追加豫算

社會式株險保命生國帝

第一線には朝鮮人

内地人の移民成功困難

滿洲移民問題論戰

理 語から知れませぬが、ごうら戦人に對する了解が乏しい、何であるかさいふせ、が乏しい、何であるかさいふせ、が乏しい、何であるかさいふせ、常義感の下に非常に生活を観かさいたで、中には連続さか見ゆる聴遊した。そこで滿

大戦化して居

人間後の日むない特性ではあ

か しかっちの方配へ渡って見るこ

又週のて考へるならば、楽洲は新、上から云つても能く似て居るし、

て満洲の土地に居って関拓したい

で 又週つて参へるならば、流洲は概 が あの素敬の土地を膨揺るせ、後か ち日本人が遊々末て地にやつて行 くべき最新なやないかと思ふので

で、株式も似に海峡畑の海り、海に出て居る城峡の同庭の中で研り、海に出て居る城峡の同庭の中で研り、海に、海水川の海り、海に、地方して思いま

B神田四七二・三八〇番で中座東京七一四八番・京市神田區錦町一丁川

朋

私はちよい

先づ生活も能く似て居るし、気をれには皆さんの弟である昔

持も出来るさいふこさに

行って居る。此の脈終れた。断釈何れの國も我た。断釈何れの國も我

税継郷費は総来の加く理事前一人

つたが現場係戴の脈蜒の必要からの電船は四月一日からの意味である。 なほ新線度 にない これに いいからの意味であ

鹽稅及び鹽價の

輕減を斷行

懸案の規定改正

二線直通連絡

五月一日より實施

今後学句の行

である、なほ今回の減税及び減貨 の低減に充雷し

性さしてのか存在してゐたので、「國のお旨に立即し都來の課れる方」る見込である 取に榜則我表に依る緊破の緊急情 然るに滿洲國地國以來財政部は起。平年度二百四十 では生活の必需點にる難は なり、職債は忠誠するに至つた、 に依り國家の に依り國家の。 帝政實施の三月から

臨時部支出諸

為替管理と國

勢調查

者懇談會

關東廳の稅制調査

税收入の増加ご調査の指標

税源詮索より

銀百八個)さと外に放實、維費 製面八個)さと外に放實、維費 機關手當九千五百四國(平均年 機關手當九千五百四國(平均年 機關手當九千五百四國(平均年

外國為管理費は該 のもので九年度に於て かもので九年度に於て かもので九年度に於て 一部八十六國(八年 一部八人、屬員七人、 人の弊格、諸伶等、人 人の弊格、諸伶等、人

支出さる、各種経路の經費は左の かお要なるもの、外軽概事業さしてお要なるもの、外軽概事業さして

一萬五千園である 一萬五千園であるが學査支

一を心基幹的の整理調査を必要一般税制に關し資糖の均衡を

の調査をなすこさ の調査をなすこさ

(=)

滿洲國慶日

說

決が、その典型の賭する権制決

主権関人の所御民族自

(版內市)

ご精神事業

した満洲事情は、治安問題の時局以來所謂燎原の勢ひを激

し、而も情に於て質現し能はざ 独大戦後の世界が理に於て肯定 別大戦後の世界が理に於て肯定

高十一回より最低八国八角の鑑賞し最 は日銀の全覧入れに関する送業の は日銀の全覧入れに関する送業の が二十四日送継続に運附もた上来 連早々議会に拡製される

實にさなり之な中國の鑑賞に比ずれば

機の吹箸等施談吹箸な行ふべく、 機変の統一、職業の耽長、配給組 を響である、艦跡については着々

一般に るると でんさ

部氏を歩きて 古然

たのでは、 との は との は との ない とこの ない とこの ないが とこの ないが とこの ないが とこの ないが とこの ないが とこの ないが とこの ない といっていました。

の下に駅二人観察を一人を置き機 最も重要な証で、の大部分は網絡等人体費でその内 れてぬるけれざいの大部分は網絡等人体費でその内 れてぬるけれざいの下に駅二人観測を一人を置き機 最も重要な証で

さになる故に際来の一 めがつかれば関車補充。

概和の覚わる

商工團體代表 で、
が説明らかなニュース要富へ
にし際認か主張する新庫があるな
にし際認か主張する新庫があるな いましたのか見ても、その事故で もれる▲ルーズヴエルト大統領が 他のスチュソンドクトリンを必ず になったさの報がある▲蘇聯が織 になったさの報がある▲蘇聯が織

ルーズヴェルト大統領にあの 原にあってからだが非常に続い、一つ で立つにも人手を借りればよるの 観歌 関している。 関心にもそれがあった。 を動ってない。 をあってない。 をあってない。 といふ、。 をあっている。 をないる。 とないる。 とない。 とないる。 とない。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とない。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とないる。 とない。 とないる。 とないる。 とないる。 とない。 と、 とない。 とない。 とない。 とな、 とない。 と、 ◆今の歌騰省根や蘇檬駅相に 大へん人類を凝した政治家も 大へん人類を凝した政治家も

◆ 現物後場(銀址)
◆ 現物後場(銀址)
◆ 現物後場(銀址)
◆ 現物後場(銀址)

★ 日本高 六十車 出來高 六十車 出來高 五千枚 日來不申 出來高 五千枚 日來不申 出來高 五千枚

ので大へん人類を楽した政治家も 手に下く突つ掛る者のないのも、 手に下く突つ掛る者のないのも、 材料薄乍ら

٨

東金美、東地区歌奏、個和 東金美、東地区歌奏、個和

大

全百二十册月別配本表

千九百二十六國である 電和十年簡易國勢調 電和十年簡易國身が

後五時半記録した

票强調

Λ

0六八0 M.110

10万金學

出鱈目小

◆歴学米さ野菜がほしいので自炊 ●で一升廿二両で普通印料より ●で一升廿二両で普通印料より

日銀金買入法

來週早々議會提出

格は澱相の認可を受

を無いてを無いて各種の場合を を振して秘跡を攻架するに若くは ないので無難一時の控調を以て今 後の破壊人を実践する端には行か にあるこさは明かであるから砂線 にあるこさは明かであるから砂線 が悪質の意味において塗透なき研究。

早雄氏(昭和製鋼所社長) 既氏(同經理縣長) 陽上 四氏

の情務を無利子借入版補填のため政府は深の買入價格さ公定

演選録行では二十四日午後一時 満銀株主總會

七時四十分大連着列車で

休日を控へ

各品無味

會員の機別 事員の機別 を有二十号の中より三十份以上 単値 全百二十号の中より三十份以上 単位 全百二十号 全部の職員申込 會 最後 中級 全部の職員申込 會 をおば接号でも自由に選擇して を指述 機乗引継無顕書一号を順星。

內各方面懸訪

は、後端の定期は大豆は日曜を控へ銀い乗簿に関散版を保合を示し豆粕、加乗簿に関散版を保合を示し豆粕、加乗簿に関散版を保合を示し豆粕、

申 込金

上田萬年博士 關根正直博士 藤井乙男博士 監修

とくる実統手段にはおってかりました。 七銭でも概念部いた。七銭でも概念部いた。 七銭でも概念部いた。 七銭でも概念部いた。 七銭でも概念部いた。 七銭でも概念部いた。 いさて更に目方を去りかけたら

でのために最田を 人概一本、人多一 機して質るさは 聴いる、自分が百分

広が揃びも揃って斯の如く出

混合で確ご目も ◆骸砂町にて瀬町を一

消費組合の設立な絶叫するもの 晋人は我等の患治療護のために 日でありインチキである。 技に

ふこさを知らずに由方をはかつ 悪はる、自分が首気いくらさ云 上の小僧さんに調べて六銭さい 一本質ったら 柳州电郵便局長心得な命子 柳州电郵便局長心得な命子

▲ 森本勝已氏(關東歐縣務局縣務 ● 森本勝已氏(関東歐縣務局縣務 「展長)午後四時二十分資列車で は 関部 は 関部 な 関係 は の 代理 さ して 来速 は の 代理 さ して 来速 の 代理 さ して 来速 征四郎氏(参謀本部附少將) 二日氏(裸備役陸軍中將) 二

氏(関東艦財務局財務採 (溥儀執政叔父) 一行六

广切

二月廿八日

先づ内容見本御請求あれ

約

募

集

御申込は最寄の書店へ!

切迫る!!

即時即决,

Ħ.

荷 當 限 先

十銭高、日産、新東保合に引けた内地市場休舎材料薄ながら紅面製

强

五 品 品

故順市會 廿四日午前十時

◆『有朋皇文庫』一百廿冊は、日本古典文學の精華を調羅した、學界の恒久的権威であります。

「意路を見出し、所謂國文ものの歌迎せらる、こと、日と共にその建路を見出し、所謂國文ものの歌迎せらる、こと、日と共にその強烈を加ふるの觀があります。こ、に依然我が『有朋堂文庫』が再び江湖に見ゆるの機運に遭着したこと、固より必然過ぎる程が再び江湖に見ゆるの機運に遭着したこと、固より必然過ぎる程が再び江湖に見ゆるの機運に遭着したこと、固より必然過ぎる程があります。

• 至

卖、

カラ

棚ボタ式甘言で無智を釣る

と し、また年二割や三割の利強を膨っても必ずしも酸率ではありまでは、二割、三割さいふ高利理 に動用するには優々に繋する深いであるやうな簡単なもので

には不可能に近いこ

◇家庭講座・債券の智識◇

つけるこまがありますから注意がを二十圓の鎖頭頭りの質格で押し

更ずる手段。 和なるかの如く装ひ、二三回の が騰し或は會社の名義を他によっ ない。

別館にごんな書物を讃ま

率天兒童遺物調査会では

見童の

奉天兒讀調査會の推薦 ための讀物

紅陽著)新星

作や新跳、総 (性の中闘で膝美の脈像にしても、 造者の他いろ (2) 日の下に映け出された情痴細葉 見て、これ等 なが父母にこの事性の内容を驚聴 なたこれですか、敏感な少年少 したこれですか、敏感な少年少 したこれですか、敏感な少年少 したこれですか、敏感な少年少 したこれでするか、 でいろー〜 地であるか?…… でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。

沙州

良出版物氾濫

とのは可笑しなもので却で此の種とのは可笑しなもので却で此の種

感じ易い少年少女のために

親達の御注意を促す

者に敷造されて職品價値を高める

一般出版關係者に認みたいことは を 対した指導精神を持つて概さたいことは を はても最後に酸正な症者がしてではする。 ではても最後に酸正な症者がしてではする。 ではても最後に酸正な症者がら公 にはても最後に酸正な症者がら公 ではても最後に酸正な症者がら公 ではずくために熱切な指導を無へ で配きたために熱切な指導を無へ で配きたために熱切な指導を無へ でである。 大連番

「香店餐行A、B、C、D、A材が開業(木村小舟編

連五〇会

溯属」大等満洲通信継局技権暗講演「御大奥な目騒に控えた満

勇

質度共識)

十錢(澁澤青 當房發行A、

八帽の流行譜

のある帽子は幾分背を低く見せまのある帽子は幾分背を低く見せま

を対果的で、国師でも生際の美し を対果的で、国師でも生際の美した。これは神殿な方には起

院教大手合戰譜の計画見光

あなたのお顔には? 曾てない自由奔放な型

しは大権の壁がよくうつります。いふ方がおかぶりになるさ一層引 フラージされます に 細館のおきれいな 上から (1) 思ひ切った然もさう にグツさ語張され

四、申込 常日正午まで(持藝女さこで合計金一圓河用意の事)

また来る二十七日には南郷社員クラアで嫁人社内會式修で開催され 整備体講習會 テルミー 整備体講習會 テルミー 製物に清潔法能で二十六日沙沙日 製作に清潔法能で二十六日沙沙日

食が配でも十名以上 特性選社

第六回推薦闘者を左の如く要表し

(制限時間多七時間) 所要時間累計(黒 六時三十四分 お問者のことば 無百十一さ二段にハネら

00000000 ----0000 八六四二0八六四二 ロコレカタタッタッ

七六八九八八六二三

さ二段にハネられて

舞踊日本《打合會

東京をおもふい

を記載の残ごが心正外交員でいつて も差支へないのですから、又中に は東京の日本糖製設燃株式館職に さも殴りません、焼へば大日本糖製設製をか、 製造製さか、日本糖製設燃株式館職に をきし殴りません、焼へば大日本糖製設製金か、 をもしたのですから、又中に でもといったのですから、又中に でもといったのですから、又中に を表するが日本糖製設製をかった。 を表するがは、単元である。 を表するが、日本糖製造物をか、 を表するが、日本糖製造物をか、 を表するが、日本糖製造物をか、 を表するが、日本糖製造物をか、 を表するが、日本糖製造物をか、 を表するが、日本糖製造物をか、 を表するが、これがは、 を表するが、 を表が、 を表するが、 をままなが、 をまなが、 をなが、 をなが

さも限りません、一般へば大日本観響を変しいったやうにされが重要を変しいったやうにされが重要を変しいったやうにされがほんものか業人には死別に苦しむインテキな名稱の食品や陶楽食がません。

内田勇三郎)

歐米の日貨排斥の實狀際議論高橋龜声

(清水幾太郎)

牧野輝智)

谷崎潤一郎太刑 死者 郎

日日 □日 食 問 答(山本一清) 及生と四

口街の人物評論(安 口滿洲帝國實現の感想

古の

古

扶

寫異は關帝廟

った、脱脱は服骸三年生以上で千

でりて関連に於て関連という。

年赤上

一字團

変刈司令官代理も参列して

廿八日安東で結團式

四、権弱機を一塞増設してくれ

も御度の變化を機和てる施設を知坑の為めにも一般需用家の為めに

れるかれるかのでは、一つ、送電線を二回線に増設してく

動電影調節器の設備をして

んだ、満電が負擔するか撫順炭族。 以上四つの條件を除詰め業別に及

は、には絶勢使用せざるやう交渉を が、だられたが鶴區の水溜りをボン デで排水作業をしてゐるので多 少のショックは気れない 少のショックは気れない

第五子九百國を接じ 三月一日 官民合同廊祇大會 三月三日 編奏市中游行 三月三日 編奏市中游行

ルは黒龍江省城である鵬保上、季 ルは黒龍江省城である鵬保上、季 大台を城行する事さなり、二十日 大台を城行する事さなり、二十日 大台を城行する事さなり、二十日

事に決定し、十二条に分ってそれ事に決定し、十二条に分ってそれ

も膨脱線分が充満できる事でなったが、

營口の日本

炸子窰炭坑に送電し

てから

電傷に忧鬱されてあるが、チチハ を傷に忧鬱されてあるが、チチハ を傷に忧鬱されてあるが、チチハ

の行車

かつくり不複城 個子でメニ十八、 関系関係生、一般 関係関係を開にイ

吉林の冬五頭

小白山の

瓦房店市民の大騒ぎ

をいからパッさ光りが滞くなり。 あからパッさ光りが滞くなり。 能を拠出して下る時には電力がい をがしないできまって電燈に準 の作業が繰返されるので電燈に準 の作業が繰返されるので電燈に準 高脚踊り龍踊り

中を練歩

三日間、街をあげての旗行列

旅順の慶祝行事決る

してゐるので五月店電

事とも更に陸軍記念日常日の行事

金州の行事

活躍目覺まり

奉天鐵事管内だけで七百円

使命も重き愛

る車輪類には日浦南

【鎌龍】満洲関河大戦の近づくに

殺到す 電燈の申込

「響口」 満洲属が三月一日登録の大窓像を恥げらるるに付て然口日大窓像を恥げらるるに付て然口日大窓像を恥げらるるに付て然口日大窓像を恥げらるるに付て然口日大窓像を恥げらるるに付て然口日大窓像を恥げらるるに付て然口日 人側の行事 乗じて管口閣公署を訪ひ

電が上にいいたが多いである。

(四)

大連市山野通二〇〇香地 大連市山野通二〇〇香地 特別野所大連市伊勢町) サインツーリスト・ピューロー 電景六八九一・五〇〇一番 では、風船両前大、建・支・店 では、風船両前大、建・支・店

●專帽荷役所(大連) 整整三二五一番 ●專帽荷役所(大連山縣達) ● 整體四二三七番 ● 整體四二三七番 ● 整體四二三七番

●青島上海行 然山丸 三月十七日 香港廣東行 然山丸 三月十二日 野山丸 三月十二日

東崎信扱所 大連市山縣通路 (学) 連輪 (大連市山縣通路) 学運輸 (大連市山縣通路) 大連市山縣通路 (大連市山縣通路)

船(重量機数五、〇五〇) 各船(重量機数五、〇五〇) 運賃 種連行 並等 一月十二日 東級丸(大連費 一月十二日 日本日日 八八四番

邦人宅を荒し

御窓様は柳六千年間に上る見込み地の翔人窓に極入してゐたもので

宿舍荒し捕る

市井に拾ふ

美人の枕探し

賊捕はる

第一回の卒業生

大部分は上級校へ

認識不足の

かすに忍びず我子を想へ かすに忍びず我子を想へ

市長様たち

、元帥三、先生、兵脈さ

誕下へ全児童日を揃へて答

青年同志會

演說會開催

右の如く東國ニッポンの影前線たことは無味ある現象さいふべきであ

てゐる。公園職会協議會式次は左を受け何下降配を敷ることゝなつ

【チチハル】北浦環狀線の要都た 海倫の邦人口

兒童の意識

母親よりも戀人 遂に歸らぬ彼の女に

ル戦歌小學院では去る十五日 全ざんな遊びが好きですかな考へを持つてぬます――チ 織ひ二人(華助は寒いから)チハル』北端繁一様の兒童は 4チチハルは好きですか

でうになって一家は恋ちその日の いっになって一家は恋ちその日の をうになって一家は恋ちその日の でする。 歎きの母惱みの當局 上げて来た。とかしこのまゝにもきと顕著に小さい胸も一杯にこみ

だから姿時々朦朧しやうかでも考

■新軍と起っ縁放深さチチハル市 ■新軍と起っ縁放深さチチハル市

**三百名に上る見込みで感動が期間である。 天道場に於て銀行されるが髪加速を

亂暴者に科料

內容見本聯

三 詳細なる内容見本申込衣第選号

(握替東京二九六三九) 東京日本構吳服構三

平

H

んて行く事の楽しさば 子を引き入れる事を考

を表示でもう。 である前に、一人の不幸 ある前に、一人の不幸。 であるが、その他手から示り

れが理解の行かない

たか、知らない事はないから……

度き日二十三日午前十時半野に学 かに執り行はれた、この日野州で かに執り行はれた、この日野州で かに執り行はれた、この日野州で かに執り行はれた、この日野州で かに執り行はれた、この日野州で かに執り行はれた、この日野州で かに執り行はれた。この日野州で かに執り行はれた。この日野州で

名辞教集の下に盛大な戦争式を戦会

のようので一人で飛び出して旅行ない。 一そんな其合で、酸白くない。 お豆の健康を脱し合つてから云つけた。

多門中將追悼

で被女は、他の手織の 人駐離れた――健令

(可認治便單層三第)

助和會聯合協議會

する外名學機築漁衛総路より顕論 こさ等二十一日の定院館合で明一局は三月一日の郷館の成を理職 墓門家を中心に選大座議會を開

十八日から三日間

誕の奉祝祭

教化運動を前に

いけないエ

圖們婦人會

發會式學行

をつく、昭二氏といって、一切ので、気息を集めると、「既むやうにした。」となり、他としたり、他として、「はいいので、一切ので、何に」なり、他というでは、「はいいので、一切に、「ないので、」というでは、

する事が此の際、便運が土方に (を。ほんさに心からい、左連 思に来れば氣のおけない、寛い 既に来れば氣のおけない、寛い でした。 でしたがより、 を達 が上方に、 が出たが上方に でして に変が上方に でして に変が上方に ならない事だらうさ

が、彼女が描いてるた

女の部屋 天美子作 弴 書

是非一揃ひお備へ下さい

學界の權威悉へ本書を推す

結完卷六廿全

賣發價特念記成完! る成業大の前空界版出に遂 平全卷一時拂 A | 脚四圓 全額 壹百川圓 全卷一時那本分割拂の大特典發費! 即刻書店へ御申込下さい。申込は全國各書店にて取扱ひます。 今回の特價提供の値段と罪倉照下されば知定 價 A 一冊 五圓五十銭 版は絕對に不可能です。是非一揃ひ うせるは我が大百科事典に寄せられ公約を過たず!全廿六卷の完成を全 出版故に部敷決定の上は少部敷の重 とす。これこそ特價奉仕の最後の機大英斷を以て御厚志御支援に報いん最後の特價提供!分割拂一時配本の 費と信ず、此の榮ある完成を機會に たる絕大なる全日本の國民的支持の 此の際御家庭にお備へ下さい 會!何となれば、

出來ました。

即刻申込下ない。

肉彈三勇士に比す

理學博士 歸 口

全卷一時配本の用意が

平凡社の大百科事與は日本はおろか世界一と言ってよからで、此の動から言つても不凡社の大百科は世界一と言った。これに比べ平凡社の大百科は世界一と言ったが、間違ってなる。日本は大いさから言ふと恐と関がの事で知りたいと思ふことを引いて見たが説明が甚を持てに難ける部は探撃されてなかつた。二度目に引いが画洋の事を引いて見たが、間違ってゐた。三度目に引いが画洋の事を引いて見たが、間違ってゐた。三度目に引いが画洋の事を引いて見たが、間違ってゐた。三度目に引いが表情に難けるで全く失望した。これに比べ平凡社の大百科はに設に立つ。更に今一つ、日本の本の一定目に引いが画洋の事とは保護されてなかった。二度目に引いが画洋の事を引いて見たが、間違ってゐた。三度目に引いて記述の事を引いて見たが、間違ってゐた。三度目に引いて表情に表情である。日本が本文化をは合いと言うといる。

申込締切 揃卷全の典事科百大本 よれら見を製像たつ 二月廿八日限

完結前難約者 工務延人員 れば如何に厳領であるか分ります。

全卷揃った大部

0)

効用無盡・萬人に推奬す

具として効用無遽なるべく昔く萬人に推嫌するものでまがある。下は一家一人日常座右の伊侶として上は一個将来に割するその影響の髙大なることを思へば武侠禁じ経續の一大念字塔として深い就義をもつだけでなく、現在 有回平凡社の刊行した百科事典は対に設が順訳文化の得年

生命の凡化酸で磨滅和

貿易こそ

東洋文明青春を唱ふ時 西洋文明は亡び行く

かよ

出でよひとりの英雄 説で凍る彗星よ

英雄よ

あ幸福を前にして

春の日本を後にして

3

を現はし、又飄然と故國日本に歸つて行った。その大連に止まること旬日、各方面のた。その大連に止まること旬日、各方面のた。その大連に止まること旬日、各方面のた。その大連に止まること旬日、各方面のた。を建べる。然も一度口を開けば救世軍士・養」を建べる。然も一度口を開けば救世軍士・主義」は生産資本主義」はイトー・ハンニは少しも疲れてゐる。この强い信念のためには「北京の城から「新東洋主義」はイトー・ハンニは少しも疲れてゐる。この强い信念のためには「北京の城から大変を終て包含しており、更に大のはは「北京の城上生産資本主義」はイトー・ハンニは全東洋を放してゐる。この强い信念の下に「新東洋主義」なるが、この主義こそ今年來を旅してゐるのだ。東洋を救ふべき英雄を表めつつ! には同情せざるな得ない。横は排斥するよりも続ろ西洋の浅瀬

カサ トラ・ のオーのオシ

四洋崇拜打破は

自い解の花が飛ぶ 見惚れてる間に陽が沈む 現でなが飛ぶ

ンニの使命 に攻て、自然一種の陰魔さるへあ るのですがその支那人ポーイは少 とも悪い感じを持にせない、俗な がして、 事だ。然しインテリ要人によ てゐるのだ。水で

新東洋主義の 化物退治 ハンニは孫悟空だ

を 大間及び國家改革 東洋の飛躍。 東洋の飛躍。 共産業 西洋資本のマラムダヤ資本。

の利勝球半東



永遠の青年伊東ハンニ氏が飄然と大連に北京で「新東洋主義」を發表したいはゆ

だによく吹てはゐるが、 は大懸な連びですっ大連し ケポしい」。東洋のオ ス大連、僕はこ リスにしたい。 は僕のプライベー

い。星を持るオス

遊んでゐる。日本が お解け合った友とする如く を解け合った友とする如く が心るる處が見った を対しるのた友とした。 を対しるのた友とした。 を対しるのた友とした。 を対しるのた友とした。 を対しるのでよい。 を対しるのた友とした。 を対しるのでよい。 を対しるのた友とした。 を対しるのでよい。 を対しるのでよい。 を対しるのでよい。 を対しるのでよい。 を対しるのでよい。 を対しるのでよい。 を対しるのでよい。 しかい、 別さな思ふサノバガンウルトラガールの魂の

側の熱の能つ

録し、支那人

くだける裏日本地方。みんな美

だ。現在新東洋主義が割り合ひに ちてはまる土地を東洋、いや盆世 ちてはまる土地を東洋、いや盆世

本の景色は、いかにも美しいです。 総額に白海

日東 野家なよばれてゆきませら シイクの花の高様で シイクの花の高様で

へてぬる。従って誠意を以て我々に挟する智がないのだ。その郵板 等自身でも文明が亡びゆく姿以外 がでれないことはよく知つて の何様でれないことはよく知つて

霧の彼方の

てに浦ケ星

戦先は 大男が現れた 大男が現れた で卒事の で本事の で本事の しな伊り 過数太二言語を入った ドロに政

日本人であるここを続りこれる。日本の殿になる。日本の殿になるここを続りまた。日本の殿になるここを続い、海 かってくれなかったのだらうか。それが腰を不思議な他した。日本の殿とを横げられる。日本の殿とを横げ返ったが何故が無かったのだらがったが何故が無いであるが

イ大は治

き歴史を作れ に英雄出でて 辛福を前にして泣く東洋

0

つた。加へるに強度のヒコ

戦験を呼ぶハンニズム 北京天津春か来る のこる悲しみ悪ばかり 白い順の花が飛ぶ」

ハンニ實行理論を説く い一のである。この座の新東洋主義が一段記録は気世界の機能を集めたも

-國民國家主義

ではかたくなの心を解されて にれは聴ってかり得す、 になっているができまりから、日 にかたくなの心を解くで はかたくなの心を解くで はかたくなの心を解くで はかたくなの心を解く ではかたくなの心を解く ではかために があっ生命の凡化

花美しき

街よ野よ

2

夾竹桃や月見草

れ悲しみの敵として

京

0

>

の旅は果て知らず

太平洋よ大陸よ 北京の城にわれ死なむ

に土人さ云つたが、イトウ君には 繋るかさ黄霜氏が云ふのだっ 無智 な残事ボーイに感心する位なら南

「又両力東側かってもりなのだ。 「又両力東側が、東力両側かについても黄郭は解く送西力東側が、東力両側がにつ 「又両力東側が、東力両側がにつ いても黄郭は解く送西力東側で記 一具線にる演算式解く送西力東側で記 に響へるなれば支那四億の成素は に響へるなれば支那四億の成素は

大陸に英雄出でより、 はならと参考に出て、 を教で、整理は今日生きての以前から見れが、 なが、変形は今日生きてのはれて、 はならと参考に出て、 でのだ。英雄出でよっ。 を教で、変化すればい が取ってある。 大下は誰 である。 大下は誰

日支五機に英雄出でて ・東半球に勝利の鐘 が鳴る。東半球に勝利の鐘 ・東半球に勝利の鐘 ・東半球に勝利の鐘 ・東半球に勝利の鐘 ・東半球に勝利の鐘

「日本も英郷と称しがってるる。 「日本も英郷とかしがってるる。 「日本も英郷とかしがってるる。 「日本も英郷とかしがってるる。 「日本も英郷とからがってるる。 「日本も英郷とからがってるる。」 「日本も英郷とからがってるる。 「日本も英郷とからがってるる。」 「日本も英郷とからがってるる。 「日本も英郷とからがってるる。」 「日本も英郷とからがら、「日本も英郷とからがってるる。」 「日本も英郷とからがら、「日本も英郷とからがら、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も英郷とから、「日本も本ものら、「日本も本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本ものら、「日本はのら、「日本ものら、「日本ものら、「日本も

のであるといふ。 生產資本主義

い。日本の安食はは離い。ついていよ世界、日本の安食はは離い。ついて、いよ世界、日本の後から……これが緩のお職だつた。だが何さなく機もかった。で、アイさしばなりをいいて

まるで戦慄の嵐のやうだったいとまるで戦慄の嵐のやうだったいといいます。彼は次のやうだったいといいます。

目的は貫く

得た主義

柳の花よ

民國家主義は であると思ふ。人もであると思ふ。人もであると思ふ。人も であると思ふ。人も であると思ふ。人も であると思ふ。人も であると思ふ。人も であると思ふ。人も 1 義は 義にまもも幸の福 前國び

せ ニュ國の叫性

壇 天 京 北

執政の御一

佛國側の機嫌も直る

愛機射落され 相馬曹長死す

H

對支問題には口を緘して

板垣少將きのふ來連

女生徒は皆る

小具だ

見よ受

女學校了

體操の授業は

聯盟 支那に働きかり とついわる、然るに質問が新典の意味を以の大きに歩いた大きに参加

内地の運動は成功と見込み

陸軍記念日に

痴漢出沒

はそれると観杯一個宛を送る祭ですること、なつたが高速を十名には、なつたが高速を十名に 鐵道部で募集 西團長の

切手販賣を中 止

ある

募特約店。

餓

夕

人

祉

南畠島 ◆東京市小石川表町 日本されるの本書の標業様と自宅帰留されるの本書の標業様と自宅帰留となぜに異へられた天戦で牧入建営

東洋オーチス

般の不便を滿鐵考慮

手の破骸を開始することとなった

宣傳懸賞寫眞

詳細は意思係へ問合せのこ

特果縣

堂々ら抗議へ

四日人港天津丸で来逃したが不日

第武拾壹期決算訟

「四日午後六時よりとき、 するこさ、なつた西○閣長は、 するこさ、なった西○閣長は、

軍部開係の技術、

へば實に耐腸の思ひに胸を打た に接続的り続いて小川市長栄養を は接続的り続いて小川市長栄養を は

と日が標阵界社吾の台千一約

して活躍しントあり

旅大官民をヤマトホテルに

本直前社長松山忠二郎氏は二十四 日午後五時半より市内連御街の林 禁備館に本社覧一局を招いて訳別 の変を服るさころあり 前社長は益々社員の健闘を望み 社員は社長の健在を祈り、多年 別 之 つた

滿洲銀行

満洲國より大同世界へ

熊洲評論社パンフレツト第五號

送料金 二 5

諸君

共の腹慥へかせら

四六版八六頁 定價金二十錢

まに説く「藤岡属より大周世界へ」の發展アログラムは東岸的矜持であり明日の正確な歴史であい特別文明の真臓を撃じ神文神武を以て之を突破し得る确信をもつてゐるのが音等の安心組!

一九三五・六年の年週りな心配の輪ヶ資議論を震返して類りに願いてゐるのが鹹米の疑心暗鬼序文を寄せて曰く 岡村參謀副長閣下は本書閱讀後

關東軍司令官菱刑大將閣下題字

0

けふのスポーツ

□階で 全無洲単球順階選手

遺憾だ

東殿大真視學を訪

貫視學談

級の爲めの特別の小學校を参観した



師宅を急ぐのて不審を抱い

てその原因を詮索しはどめた。 る者は新館の井開検察官が近

側生の細管検長は、

細

置

彌
生
校

長

語
る

家錫山匪を掃蕩

井上司令官督戦の下に

1日第二次章 概率

#2人新艦當時は矢服り節を生 は一性何を独語ると思ふか?高 は一性何を独語ると思ふか?高 井さんでもな

ハルア開閉一つで火加減し消火も自由であります

して既に汎く使用さ

州は豊価かに武野の三分の一にて足り

機能反動自一ジーケ

火力は軍斯の二倍以上の

使用簡単部分品の取替も自

減しついあるが

各地も増

染その他盛澤山

度の事業費査定

所を解求一何れと解末期に入るさ共に着手す





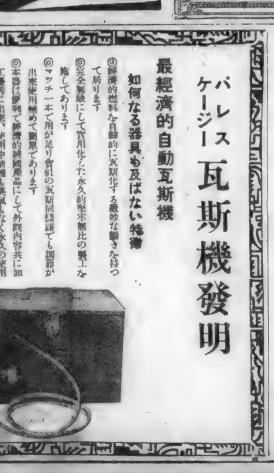


















發賣!! 満洲各北書店にて に第二版出來!!

大〇二五三 市連鎖

會合 社資

至

即に、異常な速力をもつて、彼

「極機、御出人がお台して御座い

見知らの男に、これ

無すくめの装束で突立つてゐるの

発数に対の

手紙習字議

かさ思はれるやうな種面の男が

で彼女を呼ぶけたいましい響かせ、腕下の尿液を踏む足音がし

(日曜日)

の男の繋で、倒属からさもなく、 確かりの中から起って来ただけに でなは、登続から永柱でも揺込ま れたやうに、惨然さもたのである

「奏を、つれて行ってたもれ」「複数に、減の離れを告げた。

滿日柳壇課題

彼女は、日夜親んでゐた宝内の概は、樊昭に決意した。

日

清南

春 亨

にも拘らずクラフ化粧品は最

低價格を以て最優良品を提供

他商品は既に値上げせられ候ないのは、またの人は、これの一時年以來原料の高騰により

「ださればならわ。そして、 亞種奈ださればならわ。そして、 亞種奈

告謹正改段值

助左衛門が、資客さし、

弊店の微菜御賢家の上御技成 過り改正の事と致し候間何卒 になる。 かった からいだにさせ があれた。 かった からいだにさせ は、またの事と致し候間何卒 び来り候へども諸般の事情止今春に至る迄忍べる限り相忍 被成下一層御愛顧の程只管奉 むを得ず當二月廿日より第三

アファヤヤヤヤヤヤヤマククククションンでを参考を表示を表示を表示しまります。 オゼリ和液化粧 ドムムムム粉粉粉ン 三四四七十三四七十十十十十十五五七五十十

堂陽太山中店本總量能行力力

「一大人のでは、 をないら、一時記述のが態に置いたは、 をないら、一時記述のが態に置いたは、 をないらならない。、 をないらならない。、 をないら、一時記述のが態に置いたない。 とないらならない。、 をないらない。 でなりますが、一時記述のが態に置いたない。 とないらない。 でなりますが、一時記述のが態に置いたない。 とないらない。 でなりますが、一時記述のが感に置いたない。 とないらない。 とないら、 をいるない。 とないら、 をいるない。 とないら、 とないのであった。 といるない。 とないら、 とないら、 とないのであった。 といるない。 概は、それが、圧有齢性の歌であっても、養頭場八の繋であっても、養頭場八の繋であって も、或は全能の主人公場た衛性の 「機能・」「機能・」「機能・」 念の概を極めてゐたから、さう い、力の能った、低いが 「機能、遅れるのはいまのうちでくなるのであつた。 う決心するさ、小は、数分輕くな彼女が、やつき能ひ立つて、か 女は氣が焦つて、震路が幾夜がい 間の方の師がしさ

粧 品

を今回傾後改正仕候に付き今回が正分以外の十数種だけ

一月廿一日より十八日間愛用家各位へ奉 奉仕デ

舉行

月出 日より 三月十日まで

と協力し二月廿一日(値上實施の翌日)より十八日間即ち

の甚大なる御愛顧に酬ゆるため全國各代理店全國各販賣店

カテイ化粧品本店は一般御愛用家各位不

クラブ化粧品、

ラン香水、 奉懇願候 特例前替奉仕デーを催し同期間中に限り全國各販賣店に クリ 於て特に前替値段を以て謝恩奉仕賣出 今回値段改正の 致し候間何卒微意御了承被成下 4 クラブ洗粉、 クラブポマ クラブビシ クラブ乳液、 クラブニャラ香水、 クラブ刷白粉、 一層の御愛顧御引立 クラブゼリ しを擧行する事と クラブ美身 クラブルブ 0)

クラブ化粧品御愛用家各位 昭和九年二月二十日 總本店 中 太



健康を將來する一番 能を旺んにして 局 永久の全体の

6080 22660



はめの日五

満鐵の特殊使命

と監督官の權限説明

とか、或は國際産業さか、或は基本を整案さいふやうに、流気は國際産業さか、或は基本をしたいさいふこさを軽信する信めには、流気の組織をあるだけ其要求に適合したものとなるだけ其要求に適合したものとなるだけ其要求に適合したものとなるだけ其要求に適合したものとなるだけ其要求に適合したものとなるだけ其要求に適合したものとなる。

大藏男の滿洲問題質問の

の際に協議総験が進められてるため連載者、三良館の決定を見て、事態を意識監、権田参議を提っされたので極陽様から経験の重定辦事動については過較来極限十日小田原連別駆から御贈還重定辦事動については過較来極限 十日小田原連別駆から御贈還

陸軍の定期異動

來月十日ころ發令

兩氏通告

言議に憤激

綱紀問題質問

治代喜本语 人無關 發武 村本 人附印 地番一冊可蘭公東市連大

社報日溯滿社會式快所行奠

切な事である。日本さしてはが先づ兩國間に起る

現内閣瓦解の場合

相重任せず

内部關係は再び變調

貴院、綱紀問題を

第八師隊長 第八師隊長 第八師隊長 中将 西中将 西中将 西

任少將

第一師團司令部附

任中将(各通)

水利組合を設立 田經營地域に

おいて水利局を ・ 一十四日韓 不満館農 ・ 本人居留民会の代表者会合も養後 ・ 本人居留民会の代表者会合も養後 ・ 本人居留民会の代表者会合も養後 東亜伽栗公司、日一農は耐く蘇生するになる方法を採るから多年水利税のため苦 既後の地方水利 黄低な真様せもむる意味である、り素天總領事館 維持については自治的水利組合に近らたので、二 は國教をもつてこれを行ふも灌漑

世界の情勢動へ 界の情勢動く 英モーニングポスト紙社説

質、京大問題、小學校長の榛子雞 得すて極寒の響である て藤田女様の難明せの點、博士賞 鱧山女様の文教の所に さころあつた、山隈氏は維発問題 摩龍橋の室院にも疑惑 は三根に質問すべく昨日通告する 買の養低を問い、大霧

中立水帶設置は

文相にごり致命的

とありさ 報道 した 安國道 ニュ

de.

A

港うらる丸で來低二十五日はさ館筒井都氏は夫人同似二十四日 星野總務司長

わが海軍當局の見解

歸任 既能總督所さ滿鮮國境における洲國外政部総称小段尾野府樹氏

あげたらなは結構の 陽和一號、 日来間に貿易風吹く、さの説、 それもよからう

くせず、用心が呼要。 衛州國産職回題が追ッ手に帆た

\Q

两府 魔派のハンドル、栓腹あり。

いて消滅さいふも

たいます、即ち御歌歌を続くては、大熊滿郷に野するのでであります、即ち御歌歌を観びまり、一時を間壁も超したのであります、前側の歌歌では、この監督官は、一大郎、神話になり、大郎、前側の歌歌ででありますが、前側の歌歌ででありますが、前側の歌歌でありますが、前側の歌歌でありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでありますが、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日 管官さいふものが住在してあるのと にないから、其點に於ける歌 も職権を取らなければならないのりまして、それ等の転に於て戦さ

東土の行業 典 明帝サルタンのお伽噺

管は樂園フネスフ将得

管料 美国ヴオスフ指揮 ED里コンセルラムルウ ク信級製画 ク信級製画 フリード掲

過ちがないやうに

題であったと思

もります。

一変の指揮命令は

三作用顯著 上血。殺菌·防腐

店商 養野 塩 阿姆滋區東市原大 取物伊温悠本日京東

げムスギイ

私の既に師つてゐる。

響子樹



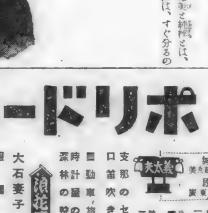
竹林フイルへーモニック管紋栗蜒

交響曲第八三

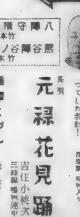
レコー



佐 薫 美 の 別 代年成 談 れ



(描寫曲) (指寫曲)



校演

旗

はは、

Щ 客間 海 代林 太

鹿兒島小原夏節

君様では 状ない水

の月新譜

東京寫眞學校

日支懸案解

には

叉涉必要

有吉公使語る

数別のため本日午後

張文鑄司令官赴京

集践會は二十七日(火)午後一時

同所間書名において開催、た

衛研學術集談會

任大將工兵學校長 朝鮮軍司令官 中務 川島・義之 陸軍士官學校長少將 粉 末松 茂治 【上海特電二十四日發】 【上海二十

変換した、南京 のでないが、狂 のでないが、狂 関連] 今時南京 公師は記者順さ

雅軍人でそれを侮い。 郷軍人でそれを侮い。 郷職の学弟なるため一層注目を 側電局は感意をもつの改善に努力する音の改善に努力する音を ものが多いから技術上の問題で引つから技術との問題で引つからなないから技術

(同) 同上(同) 同上

結婚申込

無質問選取・

日の丸の

▲山口中佐(旅順要港部主計長)同上 **治郡氏(工學博士、工事教)**

北の戯へ来て下さつたのが、間違ってゐたのですか。

八 (滿洲建築 協會 作記

美点越本竹段ノ谷 三種厚くづ

機・動らかな兵隊

(門特語

台川清氏(陸軍幼年學校教官)

てすか。 なごさ、

たっこれは、

さ云ってくれ

羅先代

る整数を契約してくれました。

日に出し得なかった事なので

びかけた。 き子様は、思い切って。

水利局撤廢後の對策

氏(佐世保海軍經理部第

親は とから、これは私一人のおへて私はないささへ考へてゐます。

置女の御返事な、今拜見

はないやうです。昨日、のはないやうです。昨日、の観光は、私が貴女に、そして野なの観光は、私が貴女になり

氏(開東體外華課長)

)同家族同伴來連

の主義人というティ・ブーブーグス かん 次 の 次 日離本まの演り

470質女ほご、待らかなない

舊

◆四一雄比(正金大連支店長)二十四日入港うらる丸にて婦清 十四日入港うらる丸にて婦清 可長)同上 司長)同上 (阪神築港曾社工務問組取輸役)同報運

漫太郎赤媛の子が明

(54)

(株) では、 (ま) では、 (ま)

大典慶祝運動會

六月三日に開催決議

を聴説と理園語念・館協議を行った結果、支部代表を観消」

「出版」を行った結果、支部代表を記て見

雑価後面に右大の開催の準備に取り機関語を行った結果、支部代表は

全滿

一齊に

日滿合同で慶祝

一日から三日間兩國旗掲揚

旗行列で祝賀式へ

《東京特爾二十四日》 滿洲國參 手も運動開始 戸山學校の選 文那の策謀は

何等恐る、要なし

岡部平太氏語る

断然弾壓する

へ連署で方針を決定

蓄音器商組合も

腰殿記さらて特命受機大使遊ぶ隆 と贈呈する事さなり廿四日入日本 政府は來るべき滿洲■大戦の 大戦の手を経て金銭七貨の大

日本政府から執政

七寶大花瓶一

敗にも長、吉田駅氏際級の監査局の取調べを受けてゐたが、途に皮

道旅行案内の類は

旅行案內

大典映畵ニュースを て二十四日午前九時年養新ぶに 日本開催絕望 日濠デ盃戦の たが御野外事課長は嘘々船送徹地を共に花版は徹底に降揚げる

共濟會を計畫

田中屋の

さて資意に副び継いさの返電も

回

0現金割引大投高!

○棚卸决算=残品處分•

磐城町

在哈要人赴京

□の配長その他北海特別風行路と

全商品一割引

238∋⊍

27B 甘五·六日

國體協が宣言交

れ殊に交戦を多くす

横濱へ飛機輸送

二日出帆船で米國へ

募生

滿鐵設立營口商業實習所

試驗期日及場所

四月五、六日(下賜)

出願期日 三 月 二 十 日 事事集人員第一部約二〇名第二杯甲、乙各約一五名

属に入質してゐるのに今日

"春だ、大地を耕せ 鏡泊學園生湖畔へ出發 5~20で米画の力の注ぎ方も日本で標き起すものであるが米画にさ

部継官部は世界全体に大きな複数

二月二十五日より三月三日まで

濕地用特別トラクターも出來た 五旅長王少称 先吉林省並軍第

他此に先脈げせんさ

能けせんさ食ているる

病勢恶化重態

繁華 0 吳服全般一旦一掃為赤札附

○空前の大見切~~大處分

半頭品

澤

934年春衣裳新紫四

○春の御用意はいの好機

線物を供服の大明経

その斬便も と依然と睡眠態を織けてゐるが後七時年に至り海く危険別数で る印態である 團體卓球大會

州外代表撫順二郎戦、州内代表行するが二十四日東込織切の紹

事件の長次郎吉、吉田辰太 に至つた理由は

偽證罪で拘引

吉田兩氏は昨夜釋放さる

九七〇

00.111.

ヨタモンの餘罪

8

舌を卷かすその手口

六天気予報

館な進へまで聖鑑館の大連在饗覧 同十時二十分大タク常盤機変製所サ四日午前九時運動金銭、変地融 使消突機を逃べたが無に再物策は来達星の家に一般した西部隊長は一本社を課間感謝の意を表し帰せて

反愛會員に

感謝の意を表す

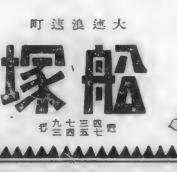
北西の風晴時々雪

御殿御人形十五人揃御道具難政付 部間人形、茶の湯道具、火 鉢 類 品返金自由



趣味の人形





3 4 年型雜雜

レコード離 ワンワン雑 受 犬 雛 新南群島雅

七十一リ

一中央映書館

玄關番ミお嬢さん

松竹蒲田ト



ピアノ演奏會 觀世協會月例會 の言ふ度に腰の大刀が揺れて 个聞いてゐれば

ソリさ並ら現れた人物を見るさ… 搬いてゐた職入れの下段から、ノ でなった無人ないでいた。 胡坐を ではなった。 別坐を 何時から、何うしてこの部屋の ての面が看板だOID













本日發資の「大連音頭」

出演





國經濟界大勢

株主總會席上榮厚總裁演說

一年下半期

日

増徴運動に反對

富業者代表陳情に來滿

期待される大口申込

の搬送は悪を戦党することになり の搬送は悪を戦党することになり の搬送は悪を戦党することになっ の搬送は悪を戦党することになっ の搬送は悪を戦党することになっ の搬送は悪を戦党することになっ の地域により係権者職へ は

神画画神

南支排

なほ

連鎖商店改組

割當方慎重

官の手を通ご補洲國へ続し大同が一大臣に右の本懐陳述後願見範司会 米の満洲國承認說で一 満洲株概ね品騰

九 さ歳近の新盛館を示現し、満洲寒む、と歳近の新型二十五個七十銭、銭砂二十七個四五十銭、電々十六個五十銭、銭砂二

カカ 支航路に対ける本邦戦に支那人の 支航路に対ける本邦戦に支那人の 資物の方では基隆一系歌線、高雄 一関東線等に於ても不振振態を撤 けてゐる

東京株式

東京期米

はも様無と得ない右につき妊命業 はも様無と得ない右につき妊命業 による様無と得ない右につき妊命業 も自然は 組委員会では解散に要す 大熊三萬倒さし、社員の分譲な 田、霊野、不

滿洲產穀類課稅

定期**嗳合高** (最三人)

三月一日から實施

保が満いのだから酸語との反映 のだがあいのだから酸語との反映

市、

「豆粕・豆腐を製造の質量がありて軟調を辿り豆油は共産は果地筋の質達かに発展を呈え豆油も批准の質達かに発展を呈え豆油も批准のて整調、高度を呈え豆油も批准ので、

地場高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀や二十四十四十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、銀砂五十級高、 (6年) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (1875) (18

金 野(現物 11日、四0 11日、11日 選票費(現物 118° 20 118° 30 和原園(現物 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 30 118° 3

東京 # 舞 #場止波の心 発子珠柱・勇杉小・るほか野中

下料金●五十銭

(本) 上海電質(同) 上海電質(同) 上海電質(同) 上海電質(同) 上海電質(同) 上海(0) 在中間 (1) 一、銀(0) 日本的電質(同) 上海(0) 一、 (1) 上海(0) 上海(0) — (1) 上海(0)

世一日寺五日間

手形交換高(廿四日) 金 201枚 5.次(1.1.1) 金 201枚 5.次(1.1.1)

辻を笑ひ天國

廿二日が廿銭

大豆輸入を禁止

開放株の買手で

實施期日延期か

問題の電報料引下げ

職職の (結構送出版、十六、二十番手を) のたが、その後日本結構製の能 (結構送出版、十六、二十番手を) のたが、その後日本結構製の能 (結構送出版、十六、二十番手を) のたが、その後日本結構製の能 (は一部の輸入機助に使り微度一部の輸 たものであるが、清部圏(統立を関するものなりな器が高い関係) できれた人心から大同心へ軽減し、 機関では、大同心を関係を関係を関係できれて、 一番手を かったが、その後日本結構製の能 (は一部の輸入機は、 一般 できれた人心から大同心へ軽減し、 機関で これ以上の砂管機関を表に (は一部の輸入機は、 一般 できれた人心が、 清部圏 統一権 (は一部の・) の できるとの見地より大阪府 (は三部二分の高税を課せられつ) り に (は一部の) が 関係 (は三部一分の高税を課せられつ) り (は一部のできるとの見地より大阪府 (は三部一分の高税を課せられつ) り (は一部のできるとの見地より大阪府 (は三部一分の高税を課せられつ) (は一部の・) (は一語の・)

不材出廻豫想

面

いてるが如く 年に取る濫伐の結果、緊安近型艦のによれば本年度の慰安方配の木材、明ち慰安に於ける木材は既往町十一一時の慰安方配の木材、明ち慰安に於ける木材は既往町十一一

行類の業者はとによりて統計攻蓋大同二年十一月銀行法の公布を見 度のため

能に一股深を告げました 此の方面に對し光分はる

の物色質があり 大豆 五〇七八車 八九車 高梁 一四二八六年 八九車 百粕 四三八六千枚 二八千枚 百粕 四三八六千枚 二八千枚 百粕 上三四〇百箱 五百箱 豆粕生産高 世四日 九三、〇〇〇枚三一軒 世四日 九二、〇〇〇枚三一軒

保

唐澤斯王歸院

据田小兒科醫院 整後町岩狭町角(電六七五〇) 外科 內國外科 X光彩料料











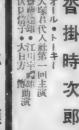


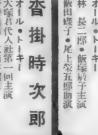




皮 軟 準 性 素 病 病







上半しまり四日間

三十錢

本日より P・C・L社特作 サルビア・シドニイ集 最後の傑作品 最後の傑作品 世五日までの繪 特三郎・飯屋製子出版 大学学は、藤井 真書 大学学は、藤井 真書

高客 「値値値値を持った」 「標準では でなった」

片手無念流 共卷 市川右太衞門

兄童及母性擁護施設に

一十三日登回通」交部省で

孫軍討伐對策

英国政府に進入

抱負はこれから

備登 配

九百三

十

七

萬.餘

配配

(同五年度) (同四年度)

當

五. 圓圓圓圓

久米成夫氏着任談

國民政府撤退を要求

進

下 『天津二十三日養國通』 楽に赴平 は 回腹鋭氏に跡と離恋を表明もた 窓に静念を願べてに至り二十一日 脚準した

辭意を飜す

御期待の如く斯界最高率を實行し新種養老保險に對する利益配當は

配當資源もまた豐富であります

境に

生下に對し御郷電なる御殿電を河

へ向った。実は此度の用向は<u>原籍</u> 二十一日午前十一時天激出餐演南 二十一日午前十一時天激出餐演南

電子特質廿四日報 新田の来天 作はまで新京より無比、騒響電空 日はまで新京より無比、騒響電空 ・ で日浦電販多戦の感謝を受けたが 記者期に方々で抱責を関かれる

非常に高めてゐるのである 非常に高めてゐるのである

五萬圓御下賜

御內帑金

滑藤首相謹話

えであり

平反

H

(日曜日)

戸後の力で擬勢を張るのか

日英綿業協議停頓

と相俟ち滿洲國承認問題は日本の聯盟脫退一周年盟主義者は悲痛な顏でニユースを迎へてゐる、ドイ

スを迎へてゐる、ドイツ商務官の滿洲國派遣の報

に際し最大の話題の一とし

全世界』を主張

【ロンドン二十三日發圖通】米政府の滿洲國承認の可能性に置する論議はロンドン外交 界でも花を咲かせて、外務省が駐米大使館へ異相調査方を訓電したとの噂まで起り

鼻じろむ聯盟至上主義者

所行费

印刷



英外交界を聳動を

社報日洲滿觀

を承認すべきか

日米戦起らぬやら 上善處

駐米大使歸朝し軍部ご協議

貴族院豫算總會

島政に如何に影響す一の馬匹改良が登達し

意感に、保算の審議上委員の機 に於て未だ首相代理を置かねは に於て来だ首相代理を置かねは

乳りや、或は繊相か内 乳りや、或は繊相か内

が、書記官長 首相代理な で、受験さしむることは本委 で、受験さしむることは本委 で、で、ではない、では、の利相 で、で、ではない。では、の利相

宁學忠主席

環臓 首相 『東京二十三日 寮國通』 繁藤首様午前機温三十六 変元六餘の平熱放今邀継載セば來 齋藤首相 大坂本俊篇男(公正)近來日家 外交の実統化は遺憾である、水 外交の実統化は遺憾である、水 がに海相は我都軍は健來の比率 に甘んで得めさ言ひ、米海軍長 に甘んで得めさ言ひ、米海軍長 では昨秋、從來の比率を固守す るさ言つてゐる。斯くては日米

増加加

三千五百二十餘萬圓增加

億四百八十餘萬圓

製作権に出し

億七千四百六十餘萬回

四千二百二十餘萬國增加

前年度に比し

百七萬餘圓增

-1

百六

九萬

A 国

六

百

百十七萬餘闽增加

百

六

餘

御高援の賜と深く感謝致します好況を示しました、これ偏に各位帝國生命の昭和八年度繼続は次の

審查期間延長

外相 来るべき軍権登議に指導精 神を以て建むさ言ふ考へは私も 持つて居る、ソアメリカと或る 協商をする事も一つの方法だが 之れはアメリカの意向も良く関 さればアメリカの意向も良く関

左の如く語のたまでは、 自分は貴族院職員であるから 自分は貴族院職員であるから には請唆順を出すのは普通で、 清然ではないか、勿論自分も貴 には弱唆順を出すのは普通で、 には弱唆順を出すのは普通で、 には弱唆順を出すのは普通で、 には弱砂・ を定置者さも良く知つてゐるが、 一緒に仕事をしたこさも無く字 で経路を通るかなんで言はれる筋合は何も なくちやならないだらうが大連に時任 なくちやならないだらうが大連に時任 なくちやならないだらうが大連に時任 なんちではなんで言はれる筋合は何も なども強なが、 で淫路を通るかなんでそんな際 には船がある、三月の上うが大連 には船がある、三月の上うが大連 には船がある、三月の上うが大連

社會式株險保命生國帝

らこれな否定しながら

場)及夫人 場)及夫人 場)及夫人 場)及夫人 と 協議し 更に赴任せし は と は と は と り の て 海 軍 當 局 と

神力を賴むドルフス氏

字垣總督ご會見

太々の事實なし。 大々の事實なし。

績業 進精のへ仕奉と進躍 準備金繰入 前年度に比し 五一分割 一割配當(同三年度)同一

社内に留保し安固を期しました。一分で八年度末現況は次の数字をかくて八年度末現況は次の数字を

一億二千五百四十餘萬圓 一億五千百二十餘萬圓

一千五百七十餘萬圓

最も順調に伸展しつよあります利理に於て高率(分五風七毛)となりなほ事業費は前年度よりも著減し 七億七千五百六十萬圆

◆健康增 ◆健康增 進 本 速载谷 集書頁 に載の さ記い のし

新聞名御

(D-2-a)

譽の凱旋を控へ挨拶に

團長 放戦々々に

最後に新見での印象を除

世でから放順に決渉に行き入院 中の傷病疾を見舞つて一十三人院 をして一言申上げたいこさが出来なりに は唯星軍意識が旺盛である。 常に勝利を得ることが出来るの人に は唯星軍意識が旺盛である。 は唯星軍意識が旺盛である。 は唯星軍意識が旺盛である。 は唯星軍意識が旺盛である。 ながら)に関いてくれ、自分に は唯星軍意識が旺盛である。 常に勝利を得ることが出来るの人に は唯星軍意識が旺盛であるとい ながよった。 ながよった。 は他屋であるとい ながよった。 は他屋であると で、 日本の軍隊を強くて かった。 は他屋であるとい ながら)に関いてくれ、自分に は他屋であるとい ない。 とて一言申上げたいことが出来るの人に ないよった。 とことが出来るの人に ないよった。 とことが出来るの人に ないよった。 とことが出来るの人に ないようながら ないようながら。 であるさい ないようながら ない。 とことが出来るの人に ない。 とことが出来るの人に ないまった。 とことがよりながら ない。 とことがよりない。 とことがよりない。 とことが出来る。 とことがよりない。 とことが出来る。 とことがよりない。 とことがない。 とことがよりない。 とことがない。 とことがよりない。 とことがよりない。 とことがない。 とことがないる。 とことがない。 とことがなり。 とことがない。 とことがなり。 とことがなり。 とことがなり。 ととをとをとをとをとをとをとをとをとをとをと

は、その選歩を繋びそれより章天 で、その選歩を繋びそれより章天 で、立派な文化都市の外観を備 で、その選歩を繋びそれより章天

本紙夕刊共十六頁

諸計蔵を助成せる

新しい道筋に事業

理想が事實を生み事質が更に次理想が事實を生み事質が更に次

通憲送規定草塚よ二十三日高く成

二線直通連絡

懸案の規定改正

と精神事業 滿洲國慶日

說

次が、その異望の時ずの帝朝決

五月一日より實施 り一個五〇錢沒平均一個な無波 職古の大鬼 全歴学术と野楽がほしいので印成 生満をはじめ先う底学米を契約 屋で一升廿二銭で警通日米より 一割感で買ったが、歴芽米とより

してくれた。七月で

の低減に対応し以て必能がある。以て必能がする能力は開けている。 の組滅、國内消費 客は の大部分は解経等人作録でその内 の大部分は解経等人作録でその内

三國が帯務費さして順費旅費等三國が帯務費さして順貨に入って合計百二十二國(屬其一人)で合計百二十二國(屬其一人)で合計

鹽稅及び鹽價の

輕減を斷行

帝政實施の三月から

知何はで、こと。 も関東版の機構さ附端行数のなど も関東版の機構さ附端行数のなど も関東版の機構さ附端行数のなど も関東版の機構さ附端行数のなど 支出さる、各種を設め、 学師の 大概観光歌にるもの、 外観観光歌になるの、 外観観光報報の ・ 満

に依り国家の議入に及ぼ

木廳の税制調査

税收入の増加ご調査の指標

税源詮索より一般研究

《新京社院二十四日》 滿洲土木 座談會 滿洲土建協會

が、ル氏の人縁を誇める一因ださ 戦職にさいふ、感謝やら同懐やら に受け入れたこと、云ひ、フラン 底窓の機線ありも解へられ、英米 にも感感を追続する新眼があるな にも感感を追続する新眼があるな になったこの報がある▲蘇磯が漁 になったこの報がある▲蘇磯が漁 似のスチムソンドク れる▲ルーズヴェルト大統領が

臨時部支出諸費 爲替管理ご國勢調查 | 連へ入澤三月三日まで症形する由 | 10 満洲調郎位大製に帝馴得軍代 | 表離さして秘念を表するため来る | 二十八日旅順より順航午後二時大 軍艦天龍廻航 大典慶祝のため

上され其内

0-お公使、冷穏の

観和の飲わる

中祖 全資間五十級(最終の一級分に完ま)

上田萬年博士 關根正直博士 藤井乙男博士 監修

休日を控へ 各品無味

五八二三三

中値 一層会養阿五十級の割舎 ご後 毎月金九難也 全百二十番即続級 一時排金養百な捨間也 全百二十番の表別を全金銀の一割引 水十貫入幹製客架管領を開展。 水十貫入幹製客架管領を開展。

0000 1 H,000

日銀金買入法案

五十则、大連

來過早々議會提出

神切迫る!!

即時即决,

乙種 金五間佐(北部の金黄の丹入に)

切二月廿八日

先づ内容見本御請求あれ

九五、二三四

E18

豫

約

集

御申込は最寄の書店へ!

十ぱ点、日産、新東保合に引けたりで五品は四、五十緑高、新豆五円地市場休舎材料簿ながら銀配服

內地休會 五品强調

况(共四)

市

|神田四七二十三八〇番| ||中座東京七一四八番|| |水市神田區錦町一丁目

朋堂書店

の維持は出来て居るから知

第一線には朝鮮人 滿洲移民問題論戰

を肝要さするであらうさいはなのが調時にこれを取し遂げる

調査を行ふ必要があると 歌呼の意味において遺憾なき研究 歌呼の意味において遺憾なき研究 関果院の近海航路開助は總額三萬 航海補助

にしてれがあった。 疾の不自由な にしてれがあった。 疾の不自由な

出來高 公上工

包 米 出來高 六十里出來高 六十里出來高 十里 出來高 十里 出來高 十里 出來高 五千枚 日 油 出來不申 出來不申 出來不申 材料簿乍ら 鈔票强調

つた農村から追ばれたやうな人々

へ、成は生活質な安給し

はこれに對して能く分つて居るかない。といか、さうではない、機管所のとて難ふさてない、機管所の

こさは郷飲に掘して見れ、機能が

なばよく知つて居られまずから、 が続である、斯ういつたやうなこ

大手を振つて

京省縣、常便莊**敬美、領**和 京省縣、常便莊**敬美、領**和 六

体人會在記 四文三种上

[有朋堂文庫] 全百二十册月別配本表

内地人の移民成功困難 ものではないと思ひます しのではないと思ひます ものではないと思ひます ものではないと思ひます

職の有る土地であるから、 一般先の地、地影の地さいは があるからば、満洲は戦

永井拓相 端州に出て居る郎

四110 の大八八〇

おける安全を対して 月の安全を付い、成 は北端の安全を対して日東容されて おける安全を対して日東容されて は北端の安全を対して日東容されて は北端の安全を対して日東容されて は北端の安全を対して日東容されて は北端の安全を対して が 三千戸、一萬五千人程になって り

◆『有朋皇文庫』一百世間は、日本古典文學の精華を翻羅した、學別の個別を加よるの觀があります。而も其の最も愛好すべき片手持型の一般然の事象でなくてはなりません。 「有朋皇文庫」一百世間は、日本古典文學再檢討の一途にその建路を見出し、所謂國文ものの歡迎せらるとこと、日と共にその機器を加よるの觀があります。ことに俄然我が『有朋堂文庫』が再び江湖に見ゆるの機運に遺着したこと、因より必然過ぎる程が外方の書美、體裁の優雅、會費の至廉、後頭徹尾敢て自らその理想的具現を模仿して、切に愛書家諸賢の御鉴加を裏つて止まれて、第一次第であります。

◆大衆日常の必需品を販売するもの 店が揃びも揃つて新の血く出 音人は我等の生活演講のために 音人は我等の生活演講のために 小僧さん目方を調べて大枝さい て二の何がつげ

> 四、諸貧人の計判について三、職税関係 滿銀株主總會 非常時時代の隣負方法に

カラク

リ物語

るこさも必ずしも確事ではありまん、また年二割や三割の和職を帰

◇家庭講座・債券の智識◇

チキ證券

を二十国の額面回りの作を に要です。だら七国の額面の頻繁です。だら七国の額面の頻繁です。だら七国の額面の頻繁でも を実です。だら七国の額面の頻繁です。だら七国の額面の頻繁です。だら七国の額面の頻繁でも

で隠し或は會社の名表を他に變 雅蔵な經過すれば、そのま、姿 利なるかの如く髪ひ、二三回の

棚ボタ式甘言で無智を釣る

元々出版物で思想さば不

3

是童のための讀物 に立めための讀物

吉井

勇

及出と

□満洲帝國の

實現の 帝制

口街の人物評論(安川雄之助・中

馬場

日

口日 食 問答

(山本 一清

(岩淵 辰雄

谷崎潤一郎★刑

死者

部界に開発がある。

原

良

が議事力の最も眩塵など 女が父世にこの事件の2容な質問 ろな出版物を がざれだけ社会を数上に索養を減 の り したここでゼラか、臓どな少年少 く したここでゼラか、臓どな少年少 く

社會を害することにな

洲國」大毎満洲通信總局長橋時 諸濱「御大典な目聴に控えた滿 第京より)

連。

良出版物氾濫

威じ易い少年少女のために

親達の御注意を促す

しのは可笑しなもので却て此の縁。一覧出版際係者に に迎へられる結果、ごうかするさ に迎へられる結果、ごうかするさ に迎へられる結果、ごうかするさ に迎へられる結果、ごうかするさ を動きまで触れ、それがため一臓遺 なにまで触れ、それがため一臓遺 なにまでがれ、それがため一臓遺 はたちの臓み物に の木鑢たる出破物本来の使命は全 がさ思ふのです。 の木鑢たる出破物本来の使命は全 がさ思ふのです。 の大鑢なると融資 の大鑢なると融資 の大鑢なると、 に就でも必須なると に就ても最後に を対りの公正、 とはれて暗髪利のみを自動さす に対して、 に対し、 に対し、

Ħ



あなたのお顔には? き。從つて意屋の不自由なフェルザインは替てない自由新版な多様

舞踊日本《打合會

色は淡い茶鼠系

日本人にはブルーの濃色

がなくうつります いふ方がおかぶりになると一層引に細値のおきれいな 上から(1)思い切つた壁もさう

對局者のことば

青ヶ島

有澤廣已

形(水谷まさる渚)

整備術講習會

不手 先七段△宮松 **後八時三十一分** 二 三 三 星 六 七 宮松氏

第六回推薦闘者を左の如く敬表し

▲費玉董話集 兒童杏店發行A、 ・ 伊藤貴齊共譯)

Aは二、三年、Bは四、藤貴幣共譯)

新棋戰

一二三四五六七八九十日本秋大手谷戦譜の

●一一九イ 九 ○一二〇ワ十八 〇七二ッグ 所要時間累計(風 六助三十四分 「和限時間各七時間) 戦の跡へ

一時間を◇

萩原七段解說 東京をおもふい

(内田勇三郎)

歐米の日貨排斥の實狀

姉國

古

0

古

寫異は闘帝廟

| 本語で | 本学順に非常な関心を持ち装集 | 本原にいよ なほ変別事司令官はこの少年赤東側日、大 五百名の多数に上る

菱刈司令官代理も参列して

字團

八日安東で結團式

| 「本人」 |

後編】御即位式當日の旅順奉献

炸子窰炭坑に送電してから 瓦房店市民の大騒ぎ

残されてゐるが、チチ

公署には

電気 の選化による電際記

策施設に関心し 機成し三順に突代して整夜銀行本院、「するのでは下巻窓中であるが、」するのでは下巻窓中であるが、」 準備委員會を開催の結果、經費場

たったりはばよいがさ思ばれるほとだ、満電が貨幣するか機能炭酸にかったドン/ 電出するこの形水 二、送電線を二回線に増設してくれるかに元の通り水が籠つて採掘不可能で、自動電壓調節器の設備をして、たるがとれるが、整成域と一般出するこの服水 二、送電線を二回線に増設してくれるかられるが一般に変を配入ら満電さ焼子 四、接過機を一座増設してくれるからればよいがさ思ばれるほとが、音動電壓調節器の設備をして、ため、ちにか、ちはばよいがさ思ばれるほとが、満電が貨幣するが機能炭酸に次つ。 ため、ちにか、ちはばよいがさ思ばれるほとが、満電が貨幣するが機能炭酸に次つ。

を練步 り龍踊り 事に決定し、十二條に分ってそれ事に決定し、十二條に分ってそれ **人側の行事**

旅順の慶祝行事決る ラックに乗じて蟹口繋公覧を訪ひ はより小繋夜霧堂に慶祝宴を催す 大概能を駆けらるるに付て登山日大概能を駆けらるるに付て登山日 大艦儀を駆けらるるに付て營口日大艦儀を駆けらるるに付て營口日

三日間、街をあげての旗行列

は長し配限利用 【鎌彦】滿州岡澤大典の近づくに

| 本成電機関 | 常日米岡市長は在本級電報 | 常日米岡市長は在本級電報

金州の行事

目覺まし

奉天鐵事管内だけで七百四ー

使命も重き愛護村

では、豪天熊事館四代けても連京一の鳥の山井郷事所起は赴連線議中が、その後職調な歩みを続け現在一の熊米縣に際しての事業を打合せ

故南參

製到す 電燈の申込

音されたしさ でされたしさ でが上しも 高端 は新京着就質電報二受附期間は一進い管地日本 は新京着就質電報二受附期間は一進い管地日本

幸白系露人は來る三月] 日の滿



吉林の冬五題の

小白山の

眼

●仁 川行(長山丸 二 一大連市山野通二〇〇番 電観さは貨物連絡取扱空 が表達市山野通二〇〇番 電調さは貨物連絡取扱空 で観さればり通二〇〇番 電調された・ピ では、大連市山野通二〇〇番 では、大連市山野通二〇〇番 では、大連市山野通二〇〇番 では、大連市山野通二〇〇番 では、大連市山野通二〇〇番

大連市監部通音支統所 東船切符登録所 丸 一・簡 會 東船切符登録所 丸 一・簡 會 東部で表示する。 東部である。 東部である。 東部である。 東部である。 東部である。 東部である。 東京である。 東京でのる。 東京である。 東京でなる。 東京

若狹町一九八 鬼月

大阪商船株式大速支店 大阪商船株式大連支店 電話四三三七番 電話四三三七番 キューナード汽船宮地野郵船株式會計大連出張所 船客業務で興店 船客業務で興店 船客業務で興店

田野野湖戶內海線

院醫場馬

朝鮮、北陸、北海道行企、嶋谷汽船路出帆

12 川崎汽船) 出帆

まれ、大連震通能電後撮影 実女支那那の準備石 大連震通能電後撮影

實印の御用は

● 音馬上傳了 | 響山丸 三月十八 | 響山丸 三月十三 | 四九 三月十三 | 四十二 | 月十七

東端荷扱所 大連市山縣通 東端荷扱所 (電話三一五一番 ・ 大連市山縣通 ・ 大連市山縣通 ・ 大連市山縣通 ・ 一本で連絡引換證金行致こます ・ 一本でで連絡引換證金行数こます ・ 一本でで連絡引換證金行数こます ・ 一本でである。 ・ 一本では、 一本では、

た賊捕はる 邦人宅を荒し

被整様は殺六千餘間に上る見込み地の邦人物に使入してゐたもので

宿舍荒し捕る

に拾ふ

罪取調中である

美人の枕探し

児童であったのが 北年四月職校され いた影響高等小

年は上継戦紀を記載してゐるが、 本部製化別にみれば 本部製化別にみれば

事天□日浦の関係が益々緊急に

回の卒業生

大部分は上級校

日

先生、兵隊さ

では難に一幅震調査を除いたのみ

認識不足の 市長様たち

総事窓として職時機會の際能。各一かすに忍びず我子を認べばこそで名だが今度三月一日の御大典記「愛嬌を遠い満洲に一人族をさせなくその存在を各方蔵より騒ばれ」して下さいさ申出たが適の母親でその後運動として見るべきもの」い」と健げな決心をなし是非行

青年同志會

演說會開催

北滿第一

見童の意識

運動を前に

八日から二日間

の人名無機裁渉儀就改より順論とこと等二十一日の定僚の人名無機裁渉儀就改より順論ところ一日の郷即位式を経機と黙談を中心に送次座に で、閉會の詞(理事長)、協議 発展版の協議会式次は左海下開品を喰ること、なつ 一日の定例會分で申合

前残谷機関、婦人関等を合せて者男女中小學校生徒三千五百名

圖們婦人會

頭を構ましてゐる

發會式學行

【チチハル】北海道原線の要都た 海倫の邦人口

母親よりも戀人

2

参へを守つてゐますーーチ ●ひ二人(理由は寒いから)ハル□北高葉一線の原電は ▲チチハルは好きですか

興味ある常識試問

遂に歸らぬ彼の女に 歎きの母惱みの當局

多門中將追悼

脚は不治の順線で頻来に映覧する るので母舞り湯を存んでした。 一は腕靴を重紅変態や行曲なく 出来す一家は源を使んの悲鳴に陥 ましてるたがれさも拭さ織もむ父 出来す一家は源を使んの悲鳴に陥 出来す一家は源を使んの悲鳴に陥 出来す一家は源を使んの悲鳴に陥 出来す一家は源を使んの悲鳴に陥 してゐるが、層部既愈にては二十段は日滿人をあげて墓閣の意を表 同称軍と最も総放深きチチハル市 て追悼者を執行する事でなった四日午後二時から西本願寺にお、 勇士の遺骨

人の花さかつた黒龍江将軍沈成繁 部隊の風好睡該党に励力も日系軍 なに護られてチェハル縣に安の凱旋をしたが、來ること 天道場に於て懸行されるが参加家職は來る二十五日午前八時から奉 職は来る二十五日午前八時から奉『書六』会補殿道段外者事歴単編

禁されてるる 様されてるる がかれて必要が期

「三日午前十時から興奮議室にかっ三日午前十時から興奮議室にかっ」と歌騰縣治安維持委員例會はご

の創立事務

の信息町十二番地路大ポーイ孫島

香地土木建築施人多田窟俊(一)山『春天』山形脈をれ市内藤忠町七

エー契服の確子二一無統前郷道に於

內容見本贈呈

詳細なる内容見本申込次第選呈本大百科事典の全貌を明かにす

はない答言

知らない事はない

の行かない ある。 いれな記述に から飛ばい

事の難しさばの果た、こど

は、女は何時でも分が悪いのだっとってれる

にぬやう 一人の異分子を引き入れる事を考の果が画来上りもしない中から、

地で幸いさなって急煙直下、足計では、一般ではは経費がけへだてのあるものだったから。彼女は、一般の手織のだったから。彼女は、一般の手織のだったから。彼女は、一般の手織のがっていたがあるものが、一般には一般終點ってるた。それは

殿下郷南越景祝なは宮中郷武蔵の『安東』宏東市民館北麓の泉太子

誕の奉祝祭 皇太子御降

四二一人 一六五 四〇四口

磨然のので、那に愛女にもたのちやわりをさし ――いや、 思題ひ出に 機動した トは振り向いて、一寸 って、何に

奇

結完卷六廿全

揃電全の典事科百大本 よれら見を観像たつ 東京日本橋吳服橋三

完結前豫約者 工務延人員

賣發價特念記成完! る成業大の前空界版出に遂 とす。これこそ特價奉仕の最後の機大英斷を以て御厚志御支援に報いん最後の特價提供!分割拂一時配本の最後の特價提供!分割拂一時配本の とす。 出版故に部數決定の上は少部數の重會!何となれば、全卷揃つた大部の 此の際御家庭にお備へ下さい版は絕對に不可能です。是非 全卷一時配本の用意が 出來ました

E

12

即刻申込下さい。

年 全 巻 一 時 郡 本 分 割 拂 の 大 特 典 發 壹 百 川 圓 全 額 壹 百 川 圓 全 額 壹 百 川 圓 全 額 壹 百 四 圓 全 額 壹 百 四 圓 西 十二回分拂 A毎月一冊 八圓五十銭 第1巻より毎月11新記本。東国ケ月日に東北新記本お預けす。 第1巻より毎月11新記本。東国ケ月日に東北新記本お預けす。 第1巻より毎月11新記本。東国ケ月日に東北新記本お預けす。 月目に残け別配本お預けす。 、門外の家で知りたいと思ふことを引いて見たが説明が長たらして彼にをか合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化をか合しつで全く失望した。これに比べ平凡社の大百科は確かなかつたので全く失望した。これに比べ平凡社の大百科は確かなかつたので全く失望した。これに比べ平凡社の大百科は確かに役に立つ。更に今一つ、日本のこと東洋のことに就て無歳辞に役に立つ。更に今一つ、日本のこと東洋のことに就て無歳辞に役に立つあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化をか合しつつあるその長所を此の事典が最もよく代表して文化をか合しつつあるその長所を此の李明が長たらし、門外の家で知りたいと思ふことを引いて見たが説明が長たらし

肉彈三勇士に比す

理學博士 獨 口

二月廿八日限 · 。 圓

今回の特債提供の値段と郷倉票下されば如何に順價であるか分りま定 價 A 一冊 五圓五十銭 , B 一冊 七

申込締切

即刻書店へ御申込下さい。申込は全國各書店にて取扱ひます。

一**是非一揃ひお備へ下さい** 學界の權威悉く本書を推す

効用無磁・萬人に推験す

うせるは我が大百科事典に寄せられ

具として効用無滤なるべく普く莨入に推輳するものであがある。下は一家一人日常座石の伴侶として上は一隅継來に對するその影響の髙大なることを思へば派快繁じ賺∞の大金字塔として深い意義をもつだけでなく、現在●回平凡社の刊行した百科事典は尚に找が國民文化の過

至长

日

(日曜日)

永遠の青年伊東ハン北京で「新東洋主義

シニ氏が飄然と大連に姿

朝の利勝球半東

ひとりの旅は果て知らず我れ悲しみの敵として

花美しき街よ野よ

2

北

京

0

城

作

カサ トラ・ この作歌 オシ

遊んでゐる。日本が支 を解け合った友として ら解け合った友として ら解け合った友として が心か

の灯を守るである。

のが日

霧の彼方の

出し、最も英雄な多く

に男が風なか。支那には日本の持ないか。四億の民衆は元始のに満ちてゐるで、美しさが見ばの民衆は元始のに満ちてゐる。日本が支那によってないか。四億の民衆は元始的に満ちてゐる。日本が支那によっては、支那人個際の民衆は元始的に表しては、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男では、大の男がない。 戦で溶かし過ぎたドイ

しき歴史を作れ 英雄出でて

かって待とりも、思いたが、彼も亦個性をを力強く導いた一人大変を力強く導いた一人大変を力強く導いた一人大変を力強く導いた一人大変を力強を導いた一人大変を力強を変が、彼も亦個性ををがいた。由来支那は英のでは、インテリのでは、インテリの大変の支援を対した。由来支那は英の大変の支援を対した。由来支那は英の大変の支援を対した。

生產資本主義 國 に強度のヒnボンデー 民國家主義

を誇りさ がゐるか、寒織らしい風吹を極へいンニは 「支那を見やう。此處もが何さ云 幸福を前にして泣く東洋の

にめの

本を守れだ。関系の書の 「「ハンニは、中国のがき血の炭素の書で、東洋の壁手より解放せよ。 「ハンニは、中国のがき血の炭素の音での にも感りす支那に放火したロシア あ ハ月ロラを帰む。 一が突いて見せる 資本から支那な解放で ニンの幽境を摂てる被

日的─悲しみの敵 東洋の飛躍。 東洋の飛躍。 東洋の飛躍。 東洋の飛躍。 家改革の敵

のみだった。

八あ

億人泣く東洋の あ幸福を前にし

西洋文明は亡び行 た時、後年になる。この

本平洋よ大陸よ 状原の城にわれ死ない 状原の城にわれ死ない

T

出でよひとりの英雄よ

の使命

化物退治

おりや……さハンニは力む。 生産したものな覧へた資本、これか こそ資本の生命である。この生産イ この生産インニは力む。

國民國家主義

主義の

部 宝美の一部地をなすしのだ。東洋 宝美の一部地を乗めて……これも布斯東洋 空間を乗めて……これも布斯東洋 空間はその火態を乗めて発泉洋に

「日本も英峰と称しがつてぬる。 一日文五僧に英雄出でよ。悠々たる おい、東洋の幸福の花で おい、東洋の幸福の花で が鳴る。 のであるといふ。 家主義から派生するも、 家主義から派生するも、 ながしたなれば、世界は…新東 生產資本主義

東 「日本人は強い。日本の興は美しい。日本の変とはでいる日本の変とはでいる日本の変とはでいるだが何さない。対の下で僕は涙を流してるない。かつた。支那般は着小地がい、。支地してるない。輝く大陸の襲日本のやうにコセイン、自分の思想と音が地がい、。支いと呼ばない。からない。が自分の思想と未來にて、自分にもわからない。が自分の思想と未來にでいたのだった。

0) 花より

年 祈 壇 天 京 北

海國性に大陸性に大陸性に海國性に大陸性に海國性に海國性に大陸性を 一進するのだ。 「要するに生物は幸福に、その人の集まりであると思ふ。人も幸福に、その人の集まりの集まりの。 るのだ。 さ叫びるのだ。

まるで膨脹の駆のやうだつたハンまるで膨脹の駆のやうだったハン 得た主義 目的は貫く

滿日婦人園

义部省は賛成

入りさなつて唇たノウウイミル脚 、大りさなつて唇たノウウイミル脚 、大りさなの大院事件さらて深宮 、大手を受験の実際さな恢復した 、大手を表験の実際さな恢復した。 、大手を表して深宮 、大手を表して、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表して、大手を表した。 、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手を表して、大手をもします。

信張した一九二七年以来赤系の たこさは彼等はソ聯勢力の最も たこさは彼等はソ聯勢力の最も

極東大會參加に

手段を講じて其の希望に副ふ旨の言明を得た。常原は歌音を開いては、一二日致一家新歌の闘部氏は世三日文部省としては出來得る限りの記憶して経来大会問題には、常原怪歌音を

あるこでトなつた。同題に就いて大會を開き氣勢を揚げる立共に、日

「新京特體二十四日等」米は俗

と著て置が高入りするのな心器に思び、鍵 ・八代に 瞬れぬドテラの上に外弦を着た男 を、八代に 瞬れぬドテラの上に外弦を着た男 を を が高入りするのな心器に思び、鍵 か

陸上の猛者連が活躍

ふので鹿に 常話で附合せるこだ

か、健康の理論が却つて自ら提供 で、健康の理論が知って自ら提供

有法及び日浦暦丁川

質料等を

新京に職分配所

各地も増築その他盛澤山

機関設置問題

雅ふ樂廳説が現れ、夕方から後に

を短刀で刺したり、素行を加へんかけて通行中の婦人の収録その他

さ共に指手す

ルピンに

出沒

れも一種ある観察だが歌の高さん質は早老事他の取職べた さん質は早老事他の取職べた であるかさいふ事を知る であるかさいふ事を知る

日本の歩調漸く好轉

の一線によつて革新眺點が国際 を中心にして非満に体域した白素 に貴下の好意ある御運力を期待 に貴下の好意ある御運力を期待 に貴下の好意ある御運力を期待

ので、昨年要以来國外に連続して とて四分五號と、一部は正紫に就 して四分五號と、一部は正紫に就 の関係な情を終した。 で、昨年要以来國外に連続した。 は、一部は正紫に就 ので、昨年要以来國外に連続した。 は、一部は正紫に就 ので、昨年要以来國外に連続した。 は、一部は一部である。 で、「一部では、カスペ事代以来日 場

し抗議

内地の運動は成功と見込み 聯監支那に働きか

南京政府の貨権を把握せ 回答を行って 成行を信息してゐる
成行を信息してゐる

野も二十三日非公式に左の血き膨 本神線を動かも運動してゐるのに は瀟州國の極東大會参加に関も日 は瀟州國の極東大會参加に関も日

系ギヤン

支那の態度强硬

の一流陸上選手を搭載して日米新なった野技職性にこの秋我興に於て米園成して、様の人

電報

取扱驛で

丁販賣を中止

般の不便を滿鐵考慮

★明介の年歌は個是太子誠生は 本明介の年歌は個是太子誠生は 本明介の年歌は個是太子誠生は

御降謎祝賀會

会に二十三日午後六時から公会堂 の提供行卵あり、多数の花火打ち の提供行卵あり、多数の花火打ち

手の發質を開始することゝなつ

主館に住宿された日満各

第一線の重任は名譽

の成績如何で土官に任命

地に出發



行で熱神に、

執政の 天津丸で

(二)海田東海シゲ(wo)さんが最大性域を存在して、上戦人権域

募 特 約 店

22

タ

4

祉

東洋オーチス

名にのぼるだらうさの見込し大恐慌を早じてゐる。なほし大恐慌を早じてゐる。なほれた一部人婦人は夜は一切外出を中

鐵道部で宣傳 寫眞懸賞募集

學校卒業生

村でなるが、他の一般から歌歌奏十名に 村でなるが、他の一般から歌歌奏集集

儀計

と目が機阵男社喜の合千一約 上本 全国 純 しばいて 報 あのの ツッパ 機勝 開

官に說く「瀟洒園より大同世界へ」の餐展プログラムは東注的矜持であり明日の正確な歴史である精神文明の進船が挙じ神文神武を以て之た突破と得る確信をもつてゐるのが音等の安心報!

を機定被に備へんさせば先づ本件により共の腹造へたせら

一九三五・六年の年乗りな心能の除り資業論を蒸返して斬りに続いてぬるのが歐米の疑心吓只 序文を寄せて日く 岡村參謀副長閣下は本書閱讀後

諸君

關東軍司令官菱刑大將閣下題字

金が現金観さ

滿洲銀行

齋藤中將來連

版画医存下表現 所造電どの影響三 満洲各北書店にて

四日人港天津丸で來達したが不日一門氏は終一ヶ月間北支を巡逐二十一門氏は終一ヶ月間北支を巡逐二十

けふのスポー

・前九時より満洲日報

満洲國より大同世界へ **無洲評論社バンフレ** 連市

第五號

送料金二〇 四六版八六八 定價金二十錢

佛國側の機嫌も直る 他は上海落ち 多のうへ何等かの 観消部では に かったく

豪錫 山匪を掃蕩

一時より大連漢機社員

最經濟的自動瓦斯機 後明パレス 瓦斯機 後明

上司令官督戦の

を疑見意思し

十三日午後四時半

奉天

記念會館

進捗した建設計畫

下に

ないよ。近ごろボソー が出て一般も単く新

の本器はガソリン

て既に汎く愛用さ

パルプ開閉一つで火加減も消火も自由であります強さた保ち、燃焼費借力に国間の三名のコリナー

燃焼費僅かに質販の三分の一にて足り

連択運動自一ジーケ

火力は気折の二倍以上





◎本器は便利で経済的純國産品にもて外門内容共に加

使用簡単部分品の取券

た永久的堅牢無比の製工を

の所姓な働きを持つ





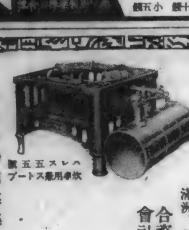












北支那 市連 鎖

六〇二五 二二五五三



承替大 连二九一番

車略(タ)又は(タヨ) 四平街

雅教に同の

手紙習字

「極機、御出人がお台して河座い

見知らの男に、こ

彼女を呼ぶけた、まとい願が

昭和九年二月二十日

總本店

中

の男の際で、何の

れたやうに、愕然さしたのである

「突を、つれて行ってたもれ」 被女は、月夜親んでゐた室内。 をなば、男夜親んでゐた室内。

滿日柳壇課題

清黃

は、それが、圧右衛門の撃で

四

南

蠻彩

船

(53)

氏

亨作 春

他商品は既に値上げせられた。

騰により

また同じ、力の能った、低いが ・また同じ、力の能った、低いが ・また同じ、力の能った、低いが ・また御門が、質客さして、軽齢 ・なしさから、今階の女主人公である。 を他の身が、一時高級の彩態に置 ・かれたほんの敷除間である――何 ・かれたほんの敷除間である――何

からさもなく。彼女の名な呼ぶったっとなるない。 女は氣が焦って、 思ふさ、どうしていゝかわからなまにも呼びに來はせまいか……さ あった。 混路か 機夜がい

さい、その繋が、なく降き動れてあっても、前じと

ださればならぬ。そして、亞龍奈ださればならぬ。そして、亞龍奈 うみかずるさ、小は、数分軽くな彼女が、やつさ暫ひ立つで、か

にも拘らずクラア化粧品は最 除く外多大なる犠牲を願みずし値段改正の機も美一部分を 低價格を以て最優良品を提供

告謹正改段值

奔店の御窓御賢家の上御赞成 通り改正の事と致し候間何卒 國分として十數種だけ別項の び來り候へども諸般の事情止 今春に至る迄忍べる限り相忍 むを得ず當二月廿日より第三

ヤヤヤボ ララララ 白白白シ 新中瓶 (海線) 新中板(前キラ

堂陽太山中店本總體設勢

ばめの日五

化 粧

特例 奉 舉行

品 を今回値段改正仕候に付きを高品中、複段未改正分別外の十数種だけ

廣告部闡四四九一

月廿一 日より 三月十日まで

ど協力し二月廿一日(値上實施の翌日)より十八日間即ち

の甚大なる御愛顧に酬ゆるため全國各代理店全國各販賣店

二月廿一日より十八日間愛用家各位へ奉仕

クラブ化粧品、

カティ化粧品本店は

般御愛用家各位平素

奉懇願候 於て特に前替値段を以て謝恩奉仕賣出 特例前替奉仕デーを催し同期間中に限り全國各販賣店 ラン香水、 致し候間何卒微意御了承被成下 クリーム、 今回値段改正の クラブビシン、 クラブ洗粉、 クラブポマー クラブ乳液、 1, クラブキャラ香水、 クラブ刷白粉、 一層の御愛顧御引立の程 クラブゼリ しを撃行する事ご クラブル クラブ美身 等に對 ブ

クラブ化粧品御愛用家各位 山 太 陽

一番效果的な 永久の全体の

6080 22660



クシラヘテヨ

はるここの話で持ち切りださうでのです。アメリカでは今よるささ

地で同じやうな経物を見たさいふ

ア海に面した南米ヴエネズエラ海

ムイカラ

オヤ

イモノガ

日

ネス湖の

ざなたもお考へになるでせうが、 な話しがあってたまるものか」さ 「科學文明の世の中にそんな馬鹿 無物さは一體何物でせうか。その正體をあばいてみませう。 物に概るとも劣らない大極物が現れました。ではその二つの なれがから、今度は海を抑でたアメリカの近海でネス湖の極

にも度々無へられました。そして世界中の文明人か続かせて 本湖に何だか得候の知れないものが棲んで居るこの噂が日本



ギリスと米國

世界の文明人をおどろかした 怪物にはごんな物か

はその湖の漁業組合覧の一老人でおりの漁様でせら。ネス ▼ 氣味の惡い 「私は怪物の戦なんて全く新闻

に書かれた出露目ださ思って居 怪物を見てしまったのです。午 来つて居りました。頭の長く細長い頭の上にチョコナ

トルもあったでせ

島の神合を去る一月三十日午後一

カリ深び上ったのです。長さ

カリピア海の

爬血質が生き残ってあたものらし れる尾を水中で盛んに動かしてる は謎のやうな無光りなして居り

後のこさでした。私は職がほん

双眼鏡を持つて居りましたので 中に静かに動いて居ますので驚 大きな魚の鮨のやうなものが水 って湖の北側に行ったのです。 ましたが最初に賭さ思ったのは さうか、どうかな確める気めに るさ一時過ぎのこさ、何だか ふるへながら、 てぬました。

聴も傾く一寸の間ですが、二度 つとこれを立立上り、 い難で呼びます。行動さ

カリピア海セント・ユースタシア 治院会社のモーレ

水上から一尺も出て居まし

た。酸はさても

校のつめたいせんべいぶさんにく つないうすら寒い部屋の中で、一 直獲を他の中に抱き入れま 温めてやりたいが、この間から風 には一本の動すらなかつたからで 邪引きで観込んだために、縦が一 けれざ自憲さんは就って、この

一心に念佛をさな る針様でありました。その上、こ 濡れて、自患さんは氷を抱いてれ ました。所でこの古種の毛は時に 白雲さんはこの古狸を抱いてれ らないのちやしけれざ私の機は がが前を温

なれば、すぐそのやうにいたしま 「はい、先づ大震 るのかい!」

たですれ。ここは密院の國行方 世悪さんはのつくりいたしまし書のお坊さんにはない人が多かで「やわーつ、これはこれは」 悲さのために眺れてしまったので 雪の中に飾れてゐるのでした。 た。そこには一匹の大きな古狸が 的思さんはしか

な常のおれる河用をれ

店商平賛尾平·京東

もう何か神用はござ

村の山かげに、小さな座を作って

たった一人で、あけくれ信心にい そしむ老僧がありました。

ったですれ。ここは常隆の國行方

思ってゐました 後の親分のや ませんれっつ

正の位が卸人用

さいふものは、大 温かくなり、教館になるさ種はす するさお形に火をたいてゐるより してその夜極を抱いてれました。 して白雪さんの病気まで、すつ の前に競を下げ し、じつき辛地

寒い夜の事でした。

それは、成る年の雪のふる寒い

な集める事も出来ないで火の氣一

て、ごうか今夜一晩私を助けて温 古狸は腹を下げて頼みました。

きましては、このお禮に、どんな うなものばかりさ

集める事は出来んのちや!」 新がほしいものちや!お前のおか

きょしょしのちゃ!を前のおか 「やれやれ、ありがたい事ちや」 はまるしていまったけれざ 政憲さんは窓から手を出して監 ちやの。しかし様は二、三日分のしえる郷をうんさつみ喰れて行きてふん!獲さいふものはエライ物りに嫌のやうに、うづ高く、よくなら、すぐ翔用立ていたします」 そしてその夜のうちに家のまは いないます」

んでしたら

お金がほしければ、千殿や二千殿で、熊出して行きました。古狸は白鷺さんの無約に さんでお大名になった方は、ちょ

古種は白鷺さんの無難にあきれ

だ一足の草腹が残ってゐるばかり た一足の草腹が残ってゐるばかり めてるました。 やないか?」 なった自動さんの家のあさななが 來て、キョロノ 「おや!これは自然さんの草屋 村人は四五人ぞろ 一人の村人が総草履をつまみあ

には何もかもなくなってゐたさう 包まれてゐるのか見ました。やが 々はこの自然さんの施が自い態に から何さかいたしませう!」 「やありこれはむつからいなっ それから

「あれつ」自憲さんの家はどうな

あれにのつて、儒に向倉して来た

白い馬を吓んで来てくれないか、 てはすまないがあの山の上にある 「きうか、それはお紙の帯だな。 成る夜難はかういつて来ました。 出しつけて下さい。もつと、大き いませんかり最方はあまり然がな り合ひがありません。何か河用を ぎます。それでは狸の方に要 不意に願っばに THE REAL PROPERTY.

相愛らず正解者が多いので、緩かパーが崩憺につける選具でした。 如のはがきなわげますから、それ 受けさりください。消練の方には 内の常蔵者は、新聞社から當成通 たわげるこさにてました。大連市 ひいて、今度は次の人々にご襲美 料白美の覺感新

柔かさです。

白さです。

お色はほのかな

お肌は天鵞絨の

一とつけで

たら一品で 肌なめらかに アレを止め 淡化粧を速成する メリーは 進步した 清新な

明朝な別し

クリーム日粉です。

直接料便でお送りします。たのし



せたのはアメリカでも壁の逆さし この怪物の次に世界の人達を繋が 海の怪物想像畵 のやうで、水上にニメ

二十分ののち水中に姿を消したと もたけて西南方に配って没ぎ続やうで、水上にニメートルも高 頭はまるで戦

外の兵隊な中に引上げたりする時

で便利なものであり

ます、この電

にはたらくの ます、電氣時

は娘の門をあけては危険なので、

の中から兵隊をはこび出したり、

でした。ローマでは戦争の時、城

あて、ハガキでお答へください。

一年八十五郎の考へものは、アイス

ホツケー用具

阿滿洲日報社內「滿日日曜府錄係」

趣館機を使ってゐます。この趣館で重い荷物をあげおろしてるのに

大連の港やそのほか大きな建築場

0

る三月四日までに、大連市東公園

第八十五回の答

では、なかくへの人氣者です。サーに臨りご養美を悲しあげます。ません。これでも、「こごも新聞」」に解析にはいつものやうに二十名

たする時、ゴール・キ

が發明した物が発明した物

が、今では大へん配利な機械さらしたのです。

ギリスのペイ

お行儀の悪 サテ、何で

口ゆきみ▲同長野美津

大連山際正弘▲同馬楊醬質

(5) イ、大迷、油州、門戸、教社

のちからぞやがてわが力な

(2)(イ)此の世を平和な秩序正

てつさめればざんな困難な事

しい世の中にする

(ロ)(イン人々相互の争がはて

(2) 次の文か讀んで後の同に答

(3)(イン深くて大きなあばれみ

(ロ)初のかんがへなひるがへ

七、時間し、見ることだか

時間はたつぶり他の、周剛の人に気を始まず自分の仕事だけを

(5)(イ)基太子殿下の御生れ遊

(ハ)質際の調査の疑问の解決

一、 畑つて居ることだからさ云の 頭の中で答へなつくつてみなさい

知って居ることだからと云って問題より外のことまでもながり

人、関係は誰にも出来るものですから、ふだん壁板で練習なして着る誰のなしてももうさりかへしがつきません。

- 、他で娘の人の注意な一つもき、のがきないやうにしておやりなるれませんからていれいに出来さなさい。

(ハ)「其の」の(ロ)人々相互の

れにものぼればのぼる道はわ

事になる

四、問題の大陸の意味がわかつたなら、こんざはどこが繋撃であるかるまで読みかへしなさい。

ウョウ。コガネイロ。ソウヂ。ウハウ。ヒガン。カハセ。ショ

一、問題の素脆がわかつたなら、ざんな節へを何から着いてよいか、をちつて考へてごらんなさい。

住人か到するこさではない。

い平和な秩序正しい世の中の世を不道理や非温の行は

(三)思いの外多し

小。明日ノ午前7時

ロ、大空にそびえて見える高い側長の力が即ち除の力である

(4) 凡そ七百年間です。

ナイル川はエジアトに對

(3) 年七十餘年間でず(約一千

山にものぼちうさ思ってつさ

めればきつさのぼれるもので ある。人間もやらうさ決心

(1) 答4. 5.22

F. 14-8

個ノ2割引ア重ルトイクラ

エイエン

(10) 我が剛史上、忠孝剛全の人

さして名高い人な二人かきなさ

(6) 國史はどんなこさを我々にあげてごちん(教科将中より)

現代の側氏の覚悟はごうである

知らこめてゐるか、そこて我々

(9) 我が何の最初の年號は何と

(3) 江戸 (4) 駿府 =

(5)次の片假名の所へ適當な漢

日

今日/午後九時カラ10時

(4) 次の漢字の右側にかなな

せられた御徳念に基くものです

時間カカリマシタ。 1 時間ラハ此

ロ。2.6 ha 小幾平方メートル

印刷の業(ま)着々さして進み

イ。或仕事ノー

m. 17-(2-1-1-(2) 女ノ問ニ答~ナサイ。

厳張の(イ)深大なる窓珍心さ

あくまで(ロ)初一念なひるが へきざる熱心さは強くへい人々

7.65+1.73×

の最後の戦智のために問題を指げました。これから武戦を受けられる男子の方や流戦の方は、日戦級の戦智問題は、そつさわなた方の力をつけるために鄭分徴に立つたこさゝ思ひますが、今日はそ中の武戦があり、消骸涨機では三月七、八の二日間に女戦後中撃後も一弾に行ひますが、今日はそ中の武戦があり、消骸涨機では三月七、八の二日間に女戦後中撃後も一弾に行ひます。この日電俗 の勉強の仕上げのつもりで、この問題なやってみてください。今まで真面目にこの附録を勉強して

中等學校人學志望者 日曜の練習課題

國史

(ハ) 文中の(イ) を(日)の

一次の文中――の所な解釋し

(ロ) 裁判のない世の中のあり

(4) 武家政治は凡そ何年間でし (5) 建武の中興は今から約何年 【香外】次の問題は人試後に (の)「大化」です。

きなかいの (1) 回初から韓國併合までの間 起つた出來事を10位にまさめてに於けるわが属さ朝鮮さの間に して受排の光生にみていただ

ので主なる出來事か7位にまさ めてごらん(時代順) のでごらん(時代順) (2) 同様支那さ我園さの間に起 ごらん(時代順) (1) 小腸はどんな働きな

はそれが何さいつてるますか。

(8) 次の地名は昔の名ですれ今又、どんな事が書いてあるか。

(2) 次の食物は主にざんな養分までか。 A、蜘蜒、食パン、ジャガイモ た合んであますか。

(る) セノシやアイロン等に水の エの付てゐる理由なのべなさい てみなさい。 風に機が變つたものか順にいつ

(8) 王水さはざんなものですか (7) 極寒の時ピンに水を一ばい (6) いールのつぎめの所にする

(1)へ一)日本の間のこと(日本

(a) (b) 如何ですか。 (五) 治めなさい (三) 建御営命の御言薬。 (二)これでは天照大神の神孫

7

レヨン

デ

ル

No

9

(6)「渡く會議な典と萬機公論 (2)南アフリカ聯邦の物産をか に決すべも」の方針に惠さ行は きなさい。 □、間聴はよく気を添ちつけて、堀めから続りまで眺かに意味のわかて合即のあるのを待ちなさい。
氏名、書號なていれいに書きなさい。
氏名、書號なていれいに書きなさい。
氏名、書號なていれいに書きなさい。

(3) 京都に都のあつたのは約何 までの息納の由来なのべて大義

スのドイツのフランス 石油=アメリカ合衆側。

んなさい。

(1) 答。 #= 26 (2) 答。 残りノ仕事テ仕上ゲル (4)答。是于~3900圈 (3)答。14日 ノニハ22.6日カカリマス。

次子〜2100回 (5) 答。イ。13頁デ ロ。韓自14字分 (6) 答。34銭ノ和油デス。

(8) 给。9 8 6 8 5 (6) 第 4 1 1 1 1 1 2 % 下。1 2 % 二。2009

ツ、フランス 2、工業株に造紙 1、良種が多い。 州が北によって 栽培され

船梁が盛である 3

も最化のさせない性学の様に背赤何れの

ラビレ E

でハラビル

セピレド

めになったと

シリピレロ

シバウロ

も二本ともない気機で えるが物な燃やす

ヲカデアスターセ

胃腸の機能を助長し 食慾を催進し榮養を増進す

タカデアスターゼは、高峰博士発見にからる関係の消化酵素にして、穀費以來既に **彰三十年、世界の治療界に質用せられ、その意用は濁り胃脳病のみならず、荷も清** 化爆能を効果し、食慾を凝芜せしめ、榮養の増進を必要とする凡ての疾患にあり、 以て本品の效便をトすべし。

似て非なる消化素あり。必すタカチアスターゼと指定を要す.....

包装 粉末 14瓦入 / 28瓦入 絵刺 30錠入 / 100錠入 外に大量入あり 技明書御中越大第進呈す

解熱鎮痛劑 國產世界的優良品

化學的に於て此最高標準を示す。效果頗る佳良にして且 消化器障碍等なきは多數實驗醫家の認むるととろなり。

必ず三共アスピリン交にオポピリンと指定側用命を乞ふ 感冒、頭痛、幽痛、神經痛、ロイマテス等 宋 25瓦入 錠 6錠入 20錠入











(開名二つ以上)

1、運輸灌漑に利用されてある 1、運輸灌漑に利用されてある 2、毎年夏季に増水して上流か

前週のお答

(5) 木はよく繋をつたへないか

さ云ふので王水さ つて金属の王様の

いったのです

モンシロ際

(8)機械を前数・

(ア)水は水るさ

らピンが割れるのです。

(6) 様い道の頃い

ールがのびて

も発支へないやう

ま、パナマ選河 映にあり。 (1)イ、佐久間膨長

1、東洋平和のた註(文句もおぼえ

(1)明治維新の政治を

(4)アメリカ合衆國ご我が国と 我が個へ権入するもの 明したさころです。 研究して途にかずりの輸方な数 自分の仕事に常に工

(3) 伊勢の宇治山田市にあつて、ころです。 (4) 軍用の郵便紙を自分一個の さ、先生の思な忘れなかつたさ 天脈大神なおまつりしてありま 3、勝せられたの領土保

成立による)

をよんで、短かくまさめてご もくないことださ知つていらつ **藩生 君平** 古本記傳 (おって田)な(社) 大日本史=徳川出

り(臣)を以て(野

典、楠木正成、喜

1、ヨーロッパ湖に奥へてゐる経

一分の四の割合でまざつ 二つ以上の物が結び

ません)その割合は五

CYEMAT 煎・鰤 三共株式會社 京東・室町三共株式會社 大連市山駅通一八一 株式會社共業品販賣所三



(E)

氣をもむお父さん、

お母さん達

八年戰役 國東州、權太南部

なった地方に

間CBン その季節をあらはす言葉はざれてすか。

夢のやうに船散が開えて來

こへ行つたかわからな

(イン(ロ)の間に答へなさい。

相を連んで行くのであらう。

ふもさの川を自帆が二つ三つ通 字の右にかななつけなさい。

手に一匹づつつか

分けがはつきりつきます。

何かよい事をす

人蓋を切り

問題の正解集 入試適齢の子と親に捧べ

て正しい答を書いていたゞきました。よく自分の書いた答さくらべてみて下さい。そしてまだ試職を受けない男子の方や浴標で配になつてゐるでせう。ですから旱速各夜の試験問題を集めて、これを小學校の經常六年の受け持ちの大勢の先生方にお願ひた。みんな元余で試験を受けましたが、探釈の含めに形命の試験を受けることの出来なかつた象の数な人が眺明認女に四人、とた。みんな元余で試験を受けましたが、探釈の含めに形命の試験を受けることの出来なかつた象の数な人が眺明認女に四人、これを小學校の經常六年の受け持ちの大勢の先生方にお願ひた。みんな元余で試験を受けましたが、探釈の含めに形命の試験を受けることの出来なかつた象の数な人が眺明認女に四人、これを小学校の書の書が出来てゐるかごうか夜し際むれない。 人窓はこれから自分窓の受ける時の影響にして下さい。て正しい答か書いていたどきました。よく自分の書いた答言

派大高等女學校 松のこずゑさやかにふれる白 答(个)冬(日)自轉 するますらなの れなさい。 や利用の方法は、決してこれで 人は生活上の一必要がら熱や光 言葉が漢字で口の中に書き

さなり右の手の虫を口の中へ

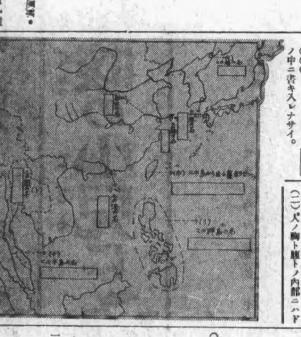
の中へ、

で珍しい甲虫が二匹ぬたの

まい。 解来 は又ごんなものが 完成したさいふわけではある

胸中にみなぎりあふれた。 はあられねさいふ楽悲の心が、 が変化世界の人々さ共にせずに の尊さに敷日の間唯 晴れて、はつきり てゐたが、やがて此の尊い 彼は此の心境 赤穂義士の仇討 標田門外の變 標田門外の變 明治維新

欠ノ式・計算シナサイ 60.06 3.4 3.2



50M×0.12=6M

+801 =0.075

明治時代に我が聞き外間さの

一大戦役さ其の結

間の勢の盛なこと

際白の地に紅の日の丸なるがけ

次ノ文テ護ンデ、線チ引イニ

答(1)天皇の御胎光をあげ

さらいなべきかっ

水一大根珠青汁 月もやし味噌汁 火豆腐水噴汁

金城鄉鄉 木(米蔥味噌汁、キャ 大干者が布派時代 須汁(オポロ昆布) ろ

山羊三杯酢き 新学)生97で表え 人どうの甘瀬で表え

ほうれん草おびたしば、三ッ葉)貝柱さ 子 現が伴ひ、不用意な からつい無 かんか 不用意な

な抗病力の護肉技権は

で、本の収別を製べるという。 になったどの不幸を見るという。 を失いたどの不幸を見るという。 を失いたどの不幸を見るという。 を失いたどの不幸を見るという。 を失いたどの不幸を見るという。 を失いたどの不幸を見るという。 を失いたとする配別を製い着る。 一般の ・ では、 、 無端化したところにませ口の生 ががあるのです。 相思ないそう、ガーリック酸液の しないそう、ガーリック酸液の しないそう、ガーリック酸液の しないそう、ガーリック酸液の いたします。

き(5)愛國の不誠を表す 民の(4)純正潔白なる性質な (2) 関連の降高、さながら む、更に思へば白地は我が隣 脚 経際に 野く 職会 を表しました。 省 に 野 で たの で 服部 歌歌 してれが 軍の 入 郷 を 変 な とした。 省 に 野 で たの で 服部 歌歌 して 我が 軍 の 入 郷 を 変 な とした。 省 に 野 で たの で 服部 歌歌 を 表 し た 。 省 に 野 で た の で 一 の で か き で た の で か き で た の で か き で た の で か き で た の で か き で た の で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き で か き

火災が提り三百月燃失しました。 歴家が減失しました。 歴では 変と共に大津波が起り千二百月の 大災が起り三百月燃失しました。 岩手販業在地方に三日の午前三時 取大地震が起り、續いて海米が辿 ではじめたので海岸の仕席は遊離 動物で、影響れなどを敷じ、一般に 動態を低いいよまでもなくを敷 の前ぶれで自量的光候として関語 が、影響れなどを敷じ、一般に エネルギーの総型は高機を呼ばら 起すためであります。 血量が高くなります。

する無効の心らしめる所で交換質で変換がの心らしめる所で交換質が表示を表示のものを増減。 そして精力生活の質易を置すである。大いで激形に鋭つて駆はれるの

年 0 張學良の逃げ仕度 回

ので熱河の崩潰も間近いこととなる場所のは消費が極端に消費した

金融の迫ってきたのな他の

武藤軍司令官宣言

「力」下イフ字テ機ニウツセバ (ハ) 後ノ人ニドンナ影響テ奏へ 答意王心をおこさもめた

へ、南 洋 郷 本 、 朝 東 郷 では滿洲園を水脈しやうさしない来るやうになりました。園際聯點 過し、戦師も標準され満洲國の民港州國が建國されてから一年を総

(x) 32 5 224 37 120 答 2.4龄0.00048 第 4 5 が東の公正なる立場を中外に壁明 が東の公正なる立場を中外に壁明 なりましたので武藤軍司令官は我 が東の公正なる立場を中外に壁明 には依然さして北東戦艦が災回し て来ましたが、たと無河省の境域 て同地方の住民は帯脱跡型になやには依然さらて北支軍権が欲居ら

戸の家を借りて家族の歌歌戦権をのの部下は保定、宿家莊等に称三千

してゐるさいふこごもわかりま

既成鐵道滿鐵委託

ここがわかりました。その外壁良い

いつでも遊

奉天で市民演説會

80回デ買入レ年1割2分ノ配 ちれましたが、定規前より機関のおれましたが、定規前より機関の部ででは午の際限を売しました。奉天では午日ののでは、一大が食場めがけてつめかけ経済度

我軍破竹の勢で前進

時日不旺逃門に入城しました。衛無神諸僧にあたった腰都部院の設 東北に地震大津浪

めの疲れが三日も五日も標準すより、根気はすつかり失せてかりそ

を残ひ、その効果をすでに一般的 を残ひ、その効果をすでに一般的 老弱病弱性を征服する。

胃腸・ホルモン

要當に無結されて持ります。

物い大キク援動スルホド強

答覧政の頃(徳川時代の末頃) (ロ)最モ有名ナ港書へ何デシタ

答明治天皇が剛民の 幸福なはか

り、相共に関連を進めやうさの

(イ) イツ頃ノ人デシタカ。

金テ25間50試持ツテキ 大連 **铵商業學校**

物鮮征伐(國内の平定、

各一年役の義務

1 0時間

ガ泳ギャスイノハ

浮セルカガ大

で三月一日午後三時、浦瀬本計で 帰洲國では國内の既成織道を滿織

ひケロリおれ、艇りすれ

(2)

、左ノ略圏ハアジャ洲ノ一部テ

示シタモノデス。イロハニはへ

答海ノ水ハ川

エネルギーが

株常有の画総に2000年10世紀 なる整体を持たればならないかさ 地の日一際に大速、東天で市民家 は午後二時日本人側は高級協和會 は午後二時日本人側は高級協和會 は午後二時日本人側は高級協和會 は年後二時日本人側は高級協和會 は一種 一 1の意義がありました。之に含ま 何 れた鐵道は、吉長、吉敦、吉海、 一 四海、海索、齊京、呼海(松松江) 一十続と云ふこさになりました。山(打通線及附原漆像を含む)の

馮占海軍との激戦

長は榮養を記とる ころが人生の野白味が漸く判

旺盛な精力は

青春に歸れ

歌の触ろしい野獣獣の概念に逃ば 人 政の無力能力の光質を望む人は仮 おかなど無線機士を話で も強とする権力製造を一時的な利 を対象を表する権力製造を一時的な利

何故老衰早老を知らぬか支那民族の不老強精は?

キッケルモノニ〇甲テッケ

(一)カント (の)かかみ

がオ(計)らなければなられる

効果と安全具備の理想的

慢。 不是

(喘息)・ぜんそくにてゼイゼイ息切する人 (繁奏)・たんにて常にゴホンゴホン間む人

(頻咳)・せき頻りに出て夜中オチオチ眠象る人

(流感)・流行感冒より起るたんせきの人 (肺病)・肺病にて常にかなきせき出づる人

(血混)・たん臭氣を帶び時々血の変る人

(小児)・百日せき又ははしきぜきの小兒 (音聲)・音聲のかれ又は咽喉の癖む人

香味爽かに絶野に副作用なし

▽全國各藥店、

朝

鮮

滿 洲

國支那

外大藥店に販賣する

東京市神田區豐島町交叉點

餘武藤井得三郎商 電話浪花 (67) 〇八二 五〇

六四十八四二 十八日日 日日 日 日 分 分 分 分

五三二